DENON

**DVD オーディオ・ビデオ/
スーパーオーディオ CDプレーヤー**

# DVD-2930

## 取扱説明書

**安全にお使いいただくためにー必ずお守りください。**

- お買い上げいただき、ありがとうございます。
- ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。
- お読みになった後は後日お役に立つこともありますので、必ず保存してください。

# 総目次

## ご使用になる前に



## 接続のしかた



## 初期設定のしかた



## その他の設定のしかた



## 基本操作のしかた

# ご使用になる前に

## 安全上のご注意

**正しく安全にお使いいただくため、ご使用の前に必ずよくお読みください。**

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その絵表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

**⚠ 警告** この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。

**⚠ 注意** この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

**【絵表示の例】**

△記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

# ⚠ 警告

### ❑ 安全上お守りいただきたいこと

**万一異常が発生したら、電源プラグをすぐに抜く**

電源プラグをコンセントから抜け

煙が出ている、変なにおいがする、異常な音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本体の電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、煙が出なくなるのを確認してから販売店に修理をご依頼ください。
お客様による修理は危険ですので絶対におやめください。

**水が入ったり、濡らしたりしないように**

雨天・降雪中・海岸・水辺での使用は特にご注意ください。
火災・感電の原因となります。

**ご使用は正しい電源電圧で**

表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。
火災・感電の原因となります。

**内部に異物を入れない**

ディスク挿入口などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。万一内部に異物が入った場合は、まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。

#  警告 つづき

## ❏ 取り扱いについて

### 電源コードは大切に

電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また重いものをのせたり、加熱したり、引っ張ったりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。
電源コードが傷んだら、すぐに販売店に交換をご依頼ください。

### キャビネット（裏ぶた）を外したり、改造したりしない

内部には電圧の高い部分がありますので、触ると感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。
この機器を改造しないでください。火災・感電の原因となります。

### 雷が鳴り出したら

電源プラグには触れないでください。
感電の原因となります。

### 乾電池は充電しない

電池の破裂・液漏れにより、火災・けがの原因となります。

### 落としたり、キャビネットを破損した場合は

まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

### 風呂・シャワー室では使用しない

水場での
使用禁止

火災・感電の原因となります。

### この機器の上に花瓶・植木鉢・コップ・化粧品・薬品や水などが入った容器を置かない

こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

### この機器の上に小さな金属物を置かない

万一内部に異物が入った場合は、まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



# 注意

## ❏ 安全上お守りいただきたいこと

### 付属の電源コードを使用する

他の機器の電源コードを本機に使用しないでください。
また、付属の電源コード以外は使用しないでください。
電流容量などの違いにより火災・感電の原因になることがあります。

### 電源コードは確実に接続し、束ねたまま使用しない

電源コードを接続するときは接続口に確実に差し込んでください。差し込みが不完全な場合、火災・感電の原因となることがあります。
また、電源コードは束ねたまま使用しないでください。発熱し、火災の原因となることがあります。

### 電源コードを熱器具に近付けない

コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

### 電源プラグを抜くときは

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らずに必ずプラグを持って抜いてください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

# 注意 つづき

## ❑ 安全上お守りいただきたいこと

### 濡れた手で電源プラグを抜き差ししない

感電の原因となることがあります。

### 電池を交換する場合は

極性表示に注意し、表示通りに正しく入れてください。間違えますと電池の破裂・液漏れにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。指定以外の電池は使用しないでください。また新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂・液漏れにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

### 機器の接続は説明書をよく読んでから接続する

テレビ・オーディオ機器・ビデオ機器などの機器を接続する場合は、電源を切り、各々の機器の取扱説明書に従って接続してください。また接続は指定のケーブルを使用してください。指定以外のケーブルを使用したり、ケーブルを延長したりすると発熱し、やけどの原因となることがあります。

### 電源を入れる前には音量を最小にする

突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。

### ヘッドホンを使用するときは、音量を上げすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

### ディスク挿入口に手を入れない

手を挟まれないように注意

指のケガに注意

特に幼いお子様にご注意ください。けがの原因となることがあります。
万一手を挟まれた場合は、すぐに本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。

### レーザー光源をのぞき込まない

レーザー光が目に当たると視力障害を起こすことがあります。

## ❑ 置き場所について

### 次のような場所には置かない

火災・感電の原因となることがあります。

- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるようなところ
- 湿気やほこりの多いところ
- 直射日光の当たるところや暖房器具の近くなど高温になるところ

### 不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所に置かないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。

### 壁や他の機器から少し離して設置する

壁から少し離して据え付けてください。また放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、機器の天面や背面から少し隙間をあけてください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

## ❑ 取り扱いについて

### この機器に乗ったり、ぶら下がったりしない

特に幼いお子様のいるご家庭では、ご注意ください。倒れたり、壊れたりして、けがの原因となることがあります。

### 重いものをのせない

機器の上に重いものや外枠からはみ出るような大きなものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

### 通風孔をふさがない

内部の温度上昇を防ぐため、ケースの上部や底部などに通風孔が開けてあります。次のような使いかたはしないでください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

- あお向けや横倒し、逆さまにする
- 押し入れ・専用のラック以外の本箱など風通しの悪い狭い場所に押し込む
- テーブルクロスをかけたり、じゅうたん・布団の上に置いて使用する

# 注意 つづき

## ❏ 取り扱いについて

### 移動させる場合は

まず電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続ケーブルなど外部の接続ケーブルを外してからおこなってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
この機器の上にテレビなどを載せたまま移動しないでください。倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

## ❏ 使わないときは

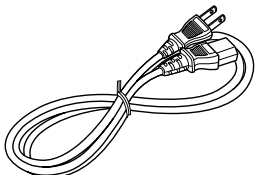
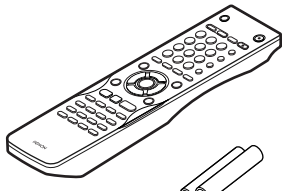
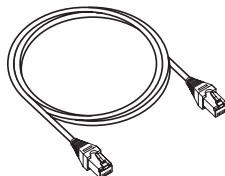
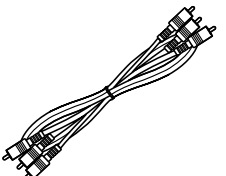
### 長期間の外出・旅行の場合は

安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。

## ❏ お手入れについて

### お手入れの際は

安全のため電源プラグをコンセントから抜いておこなってください。感電の原因となることがあります。

### 5年に一度は内部の掃除を

販売店などにご相談ください。内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。
特に、湿気の多くなる梅雨期の前におこなうと、より効果的です。
なお、内部の掃除費用については販売店などにご相談ください。

## 付属品について

ご使用の前にご確認ください。

| | |
|---|---|
| 電源コード ……………1本<br>【本機専用】<br>（コードの長さ：約1.5m） | リモコン（RC-1037）…1個<br>単3形乾電池……………2本 |
| DENON LINK<br>ケーブル ………………1本<br>（ケーブルの長さ：約1.5m） | オーディオ/ビデオ<br>ケーブル ………………1本<br>（ケーブルの長さ：約1.5m） |

取扱説明書（本書）…………………………………………1冊
製品のご相談と修理・サービス窓口一覧表 ……………1枚
保証書【梱包箱に添付】

## 取り扱い上のご注意

### 携帯電話使用時のご注意

本機の近くで携帯電話をご使用になると、雑音（ノイズ）が入る場合があります。携帯電話は本機から離れたところでご使用ください。

### 移動させるときのご注意

ディスクを取り出して電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続ケーブルを外してからおこなってください。



## お手入れのしかた

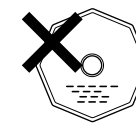
◎ キャビネットや操作パネル部分の汚れは、柔らかい布で軽く拭き取ってください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

◎ ベンジン、シンナーなどの有機溶剤および殺虫剤などが本機に付着すると、変質したり変色することがありますのでご使用にならないでください。

- 本書に使用しているイラストは、取り扱い方法を説明するためのもので、実物とは異なる場合があります。

## ディスクについて

### 本機で使用できるディスク

本機で再生できるディスクは、次ページにあるディスクです。
ただし、特殊形状のディスクの再生は故障の原因になりますので、使用しないでください。

**ご注意**

DVDプレーヤーとDVDディスクは、それぞれリージョン番号（国ごとに割りあてられた番号）を持っています。
その番号が一致しないと再生ができないしくみです。

**本機のリージョン番号は 2 です。**

| 再生できるディスク | マーク（ロゴ） | 記録されているもの | ディスクの大きさ |
|---|---|---|---|
| DVDオーディオ（＊1） | DVD AUDIO | デジタル音声＋デジタル映像（MPEG2方式） | 12cm |
| DVDビデオ（＊1） | DVD VIDEO | | |
| DVD-R/DVD+R（＊2） | DVD R / RW DVD+R | | 8cm |
| DVD-RW（＊2）（＊3）DVD+RW（＊2） | DVD RW / RW DVD+ReWritable | | |
| SUPER AUDIO CD | SUPER AUDIO CD Stereo Multi-ch | デジタル音声 | 12cm |
| ビデオCD（＊1） | COMPACT disc DIGITAL VIDEO | デジタル音声＋デジタル映像（MPEG1方式） | 12cm / 8cm |
| CD | COMPACT disc DIGITAL AUDIO | デジタル音声 MP3 デジタル画像（JPEG方式） | 12cm |
| CD-R（＊4） | COMPACT disc DIGITAL AUDIO Recordable | | |
| CD-RW（＊4） | COMPACT disc DIGITAL AUDIO ReWritable | | 8cm |
| ピクチャーCD | Kodak Picture CD COMPATIBLE | デジタル画像（JPEG方式） | 12cm |
| フジカラーCD | | デジタル画像（JPEG方式） | 12cm |
| WMA | WMA | デジタル音声 | 12cm |
| DivX® | DIVX | デジタル音声＋デジタル映像（MPEG4方式） | 12cm |

＊1：DVDオーディオ、DVDビデオおよびビデオCDの中には、ソフト制作者の意図により、本書の説明どおりに動作しないディスクがあります。
＊2：本機はDVDレコーダでビデオフォーマット収録されたDVD±R/DVD±RWディスクを再生することができます。なお、ディスクの記録状態によってはディスクを受け付けなかったり、映像や音声が途切れるなど正常に再生できないことがあります。また、ファイナライズをおこなっていないディスクは再生できません。
＊3：DVD-RWは、VR（ビデオレコーディング）モードで録画され、ファイナライズをおこなったディスクを再生することができます。
＊4：CD-R/CD-RWは、ディスクの記録状態によっては正常に再生できない場合があります。

**下記のディスクは再生できません。**

- リージョン番号が『2』または『ALL』以外のDVD
- DVD-ROM/RAM（DVD-ROMではDivX® 3.11 / 4.x / 5.x / 6の各データファイルは再生可能）
- CD-ROM（MP3、JPEG、WMA、DivX® 3.11 / 4.x / 5.x / 6の各データファイルは再生可能）
- VSD/CVD/SVCD
- CDV（オーディオパートのみ再生可能）
- CD-G（音声のみ出力可能）
- フォトCDなど

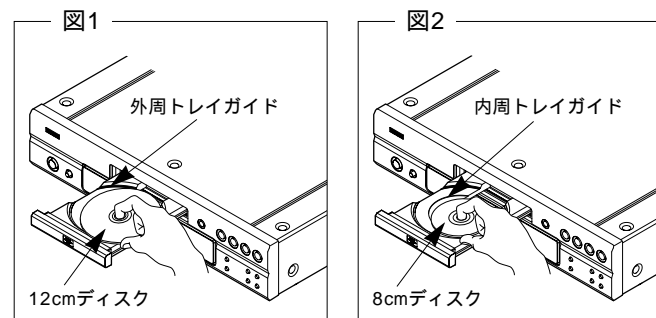
## ディスクの持ちかた

ディスク情報面に触らないようにしてください。

## ディスクの入れかた

- レーベル面を上にして入れてください。
- ディスクトレイが完全に開いた状態でディスクを入れてください。
- 12cmディスクは外周トレイガイド（図1）に合わせ、8cmディスクは内周トレイガイド（図2）に合わせて、水平に載せてください。

図1

図2

- 8cmディスクはアダプターを使用せずに、内周トレイガイドに合わせて入れてください。

- 再生できないディスクを入れた場合、またはディスクを裏返しに入れた場合は、本機のディスプレイに“0h00m00s”を表示します。

**ご注意**

電源が切られている状態でディスクトレイを手で押し込まないでください。故障の原因となります。

## ディスクを入れる際のご注意

- ディスクは1枚だけ入れてください。2枚以上重ねて入れると故障の原因になり、ディスクを傷つけることにもなります。
- ひび割れや変形、または接着剤などで補修したディスクはご使用にならないでください。
- セロハンテープやレンタルCDのラベルなどの糊がはみ出したり、剥がした痕があるディスクはご使用にならないでください。そのままご使用になると、ディスクが取り出せなくなったり、故障の原因になることがあります。

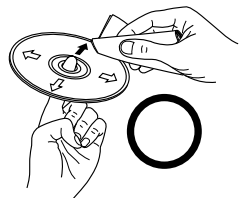
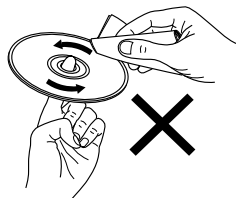
## 取り扱いについてのご注意

- 指紋・油・ゴミなどを付けないでください。
- ディスクに傷をつけないよう、特にケースからの出し入れにはご注意ください。
- 曲げたり、熱を加えたりしないでください。
- 中心の穴を大きくしないでください。
- レーベル面（印刷面）にボールペンや鉛筆などで文字を書いたり、ラベルなどを貼り付けたりしないでください。
- 屋外など寒いところから急に暖かいところへ移すと、ディスクに水滴がつくことがありますが、ヘアードライヤーなどで乾かさないでください。

## 保存についてのご注意

- ご使用後は、必ずディスクを取り出してください。
- ほこり・傷・変形などを避けるため、必ずケースに入れてください。
- 次のような場所に置かないでください。
  1. 直射日光が長時間当たるところ
  2. 湿気・ほこりなどが多いところ
  3. 暖房器具などの熱が当たるところ

## ディスクのお手入れのしかた

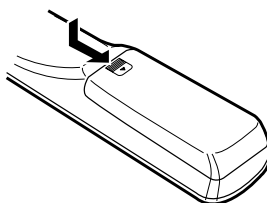
◎ ディスクに指紋や汚れが付いたときは、汚れを拭き取ってからご使用ください。音質が低下したり、音が途切れたりすることがあります。
◎ 拭き取りには、市販のディスククリーニングセットまたは柔らかい布などをご使用ください。

内周から外周方向へ軽く拭く。

円周に沿っては拭かない。

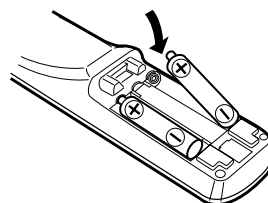
### ご注意

レコードスプレー・帯電防止剤や、ベンジン・シンナーなどの揮発性の薬品は、ご使用にならないでください。

## リモコンについて

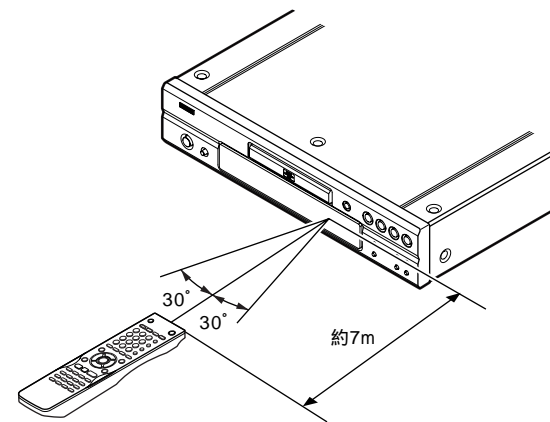
## 乾電池の入れかた

① ふたをはずす。

② 単3形乾電池（2本）をそれぞれ乾電池収納部の表示通りに入れる。

③ ふたを元通りにする。

### 乾電池についてのご注意

- リモコンには単3形乾電池をご使用ください。
- リモコンを本機の近くで操作して本機が動作しないときは、新しい乾電池と交換してください。
- 付属の乾電池は動作確認用です。早めに新しい乾電池と交換してください。
- 乾電池は、リモコンの乾電池収納部の表示通りに⊕側・⊖側を合わせて正しく入れてください。
- 破損・液漏れの恐れがありますので、
  - 新しい乾電池と使用した乾電池を混ぜてご使用にならないでください。
  - 違う種類の乾電池を混ぜてご使用にならないでください。
  - 乾電池をショートさせたり、分解や加熱または火に投入させたりしないでください。
- 万一、乾電池の液漏れがおこったときは、乾電池収納部内についた液をよく拭き取ってから新しい乾電池を入れてください。
- リモコンを長時間使用しないときは、乾電池を取り出してください。

## リモコンの使いかた

- リモコンはリモコン受光部に向けてご使用ください。
- 左右30 °までの範囲で、約7m離れたところまで使用できます。

### ご注意

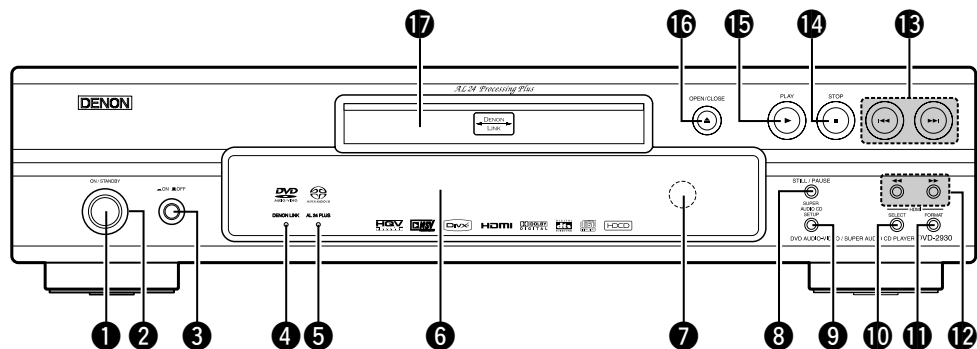
リモコン受光部に直射日光や照明器具の強い光が当たっていると、リモコンが動作しにくくなります。

### ステレオ音のエチケット

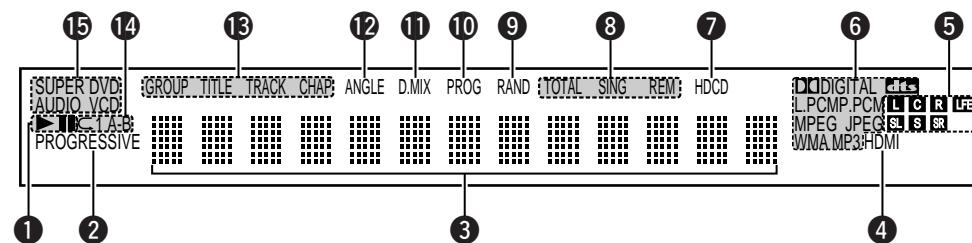
- 隣り近所への配慮（おもいやり）を十分にいたしましょう。
- 特に静かな夜間は、小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。

# 各部の名前とはたらき

特に説明のないボタンや端子については、（　）内のページを参照してください。

## フロントパネル

❶ **電源ボタン（ON/STANDBY）** ……（35）
❷ **電源表示** ……（35）
❸ **電源スイッチ（▬ON/■OFF）** ……（18、35）
❹ **DENON LINK表示** ……（49）
❺ **AL24 PLUS表示** ……（49）
❻ **ディスプレイ**
❼ **リモコン受光部** ……（8）
❽ **スチール/ポーズボタン（STILL/PAUSE）** ……（36）
❾ **スーパーオーディオCDセットアップボタン（SUPER AUDIO CD SETUP）** ……（39）
❿ **HDMIセレクトボタン（HDMI SELECT）** ……（32）
⓫ **HDMIフォーマットボタン（HDMI FORMAT）** ……（32）
⓬ **スロー/サーチボタン（◀◀, ▶▶）** ……（43）
⓭ **スキップボタン（I◀◀, ▶▶I）** ……（42）
⓮ **ストップボタン（■ STOP）** ……（35）
⓯ **プレイボタン（▶ PLAY）** ……（35）
⓰ **ディスクトレイ開閉ボタン（⏏ OPEN/CLOSE）** ……（35）
⓱ **ディスクトレイ** ……（7）



# ディスプレイ

❶ **▶：**再生中に表示します。
**❚❚：**一時停止中またはコマ送り再生中に表示します。

❷“COMPONENT/D2出力”が“PROGRESSIVE”に設定されているときに表示します。

❸ ディスクの各種情報や再生経過時間などを表示します。

❹ HDMIの映像または音声信号を出力しているときに表示します。
HDMI端子の接続確認中は点滅します。

❺ 再生中のチャンネルを表示します。
**L**　：フロント左
**C**　：センター
**R**　：フロント右
**LFE**：サブウーハー
**SL**　：サラウンド左
**S**　：サラウンドモノラル
**SR**　：サラウンド右

❻ 再生しているフォーマットを表示します。

❼ HDCD対応ディスクの再生中に表示します。

❽ 時間表示モード名を表示します。

❾ ランダム再生中に表示します。

❿ プログラム再生中に表示します。

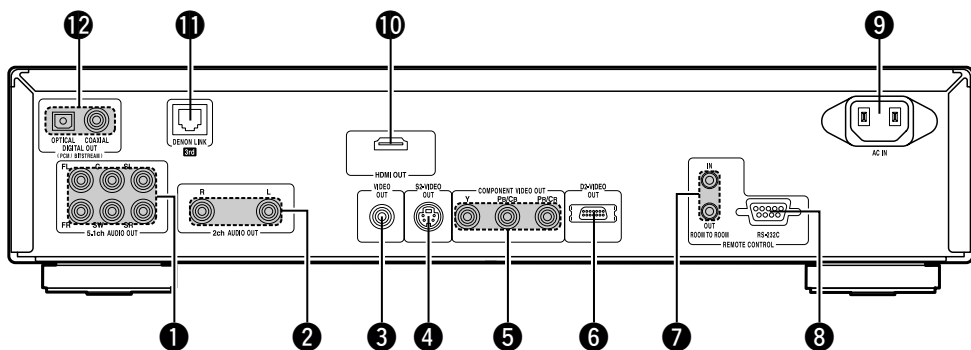
⓫ 音声信号がダウンミックス可能なときに表示します。

⓬ 複数のアングルが収録されているディスクの再生中に表示します。

⓭ 再生するディスクの種類に合わせ、曲の区切りの名称を表示します。

⓮ リピート再生中に表示します。

⓯ 再生しているディスクの種類を表示します。

## リアパネル

❶ **アナログ5.1チャンネル音声出力端子（5.1ch AUDIO OUT）**………………（13）

❷ **アナログ2チャンネル音声出力端子（2ch AUDIO OUT）**…………（12、13）

❸ **映像出力端子（VIDEO OUT）**……（12）

❹ **S映像出力端子（S2-VIDEO OUT）**……………………（12）

❺ **色差映像出力端子（COMPONENT VIDEO OUT）**……（12）

❻ **D2映像出力端子（D2-VIDEO OUT）**……………………（12）

❼ **ワイヤードリモコン入出力端子（ROOM TO ROOM IN/OUT）**
拡張用のコントロール端子です。

❽ **RS-232C入出力端子**
拡張用のコントロール端子です。

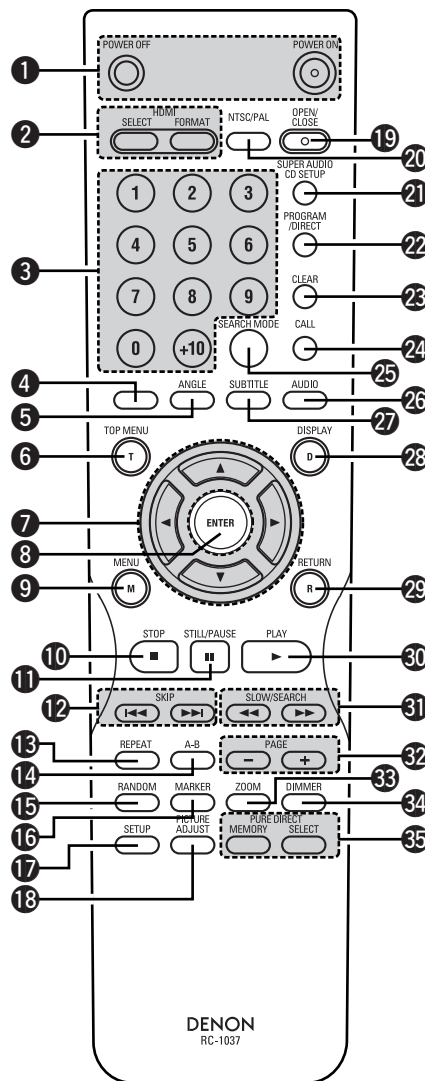
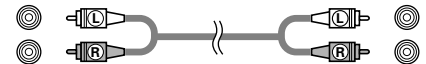
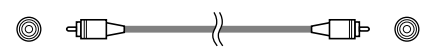
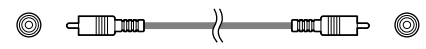
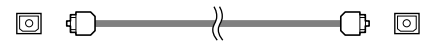
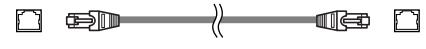
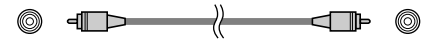
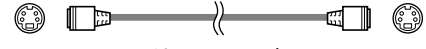
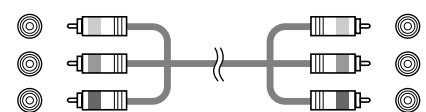
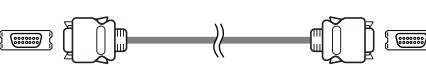
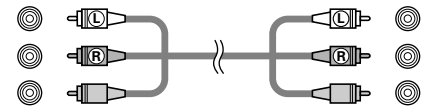
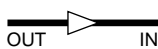
❾ **電源入力端子（AC IN）**……………（15）

❿ **HDMI出力端子（HDMI OUT）**……（14）

⓫ **DENON LINK出力端子**……………（14）

⓬ **デジタル音声出力端子（DIGITAL OUT COAXIAL/OPTICAL）**……………………………………（12、15）



## リモコン

❶ **電源ボタン**…………………………（35）

❷ **HDMIセレクト/フォーマットボタン**……………………………………（32）

❸ **番号ボタン（0〜9、＋10）**…（19、37）

❹ **このボタンは機能しません。**

❺ **アングルボタン**……………………（37）

❻ **トップメニューボタン**……………（37）

❼ **カーソルボタン（△ ▽ ◁ ▷）**………（18）

❽ **エンターボタン**……………………（18）

❾ **メニューボタン**……………………（37）

❿ **ストップボタン**……………………（35）

⓫ **スチール/ポーズボタン**…………（36）

⓬ **スキップボタン**……………（42、43）

⓭ **リピートボタン**……………………（40）

⓮ **A-B間リピートボタン**……………（45）

⓯ **ランダムボタン**……………………（40）

⓰ **マーカーボタン**……………………（47）

⓱ **セットアップボタン**………………（18）

⓲ **ピクチャーアジャストボタン**……（33）

⓳ **オープン/クローズボタン**…………（35）

⓴ **NTSC/PALボタン**…………………（48）

㉑ **スーパーオーディオCDセットアップボタン**………………（39）

㉒ **プログラム/ダイレクトボタン**……（45）

㉓ **クリアーボタン**……………………（38）

㉔ **コールボタン**………………………（45）

㉕ **サーチモードボタン**………………（38）

㉖ **オーディオボタン**…………………（37）

㉗ **サブタイトルボタン**………………（37）

㉘ **ディスプレイボタン**…………（40、46）

㉙ **リターンボタン**……………………（22）

㉚ **プレイボタン**………………………（35）

㉛ **スロー/サーチボタン**……………（43）

㉜ **ページ ＋/－ボタン**………………（38）

㉝ **ズームボタン**………………………（42）

㉞ **ディーマーボタン**…………………（48）

㉟ **ピュアダイレクトメモリー/セレクトボタン**……………………（31）

# 接続のしかた

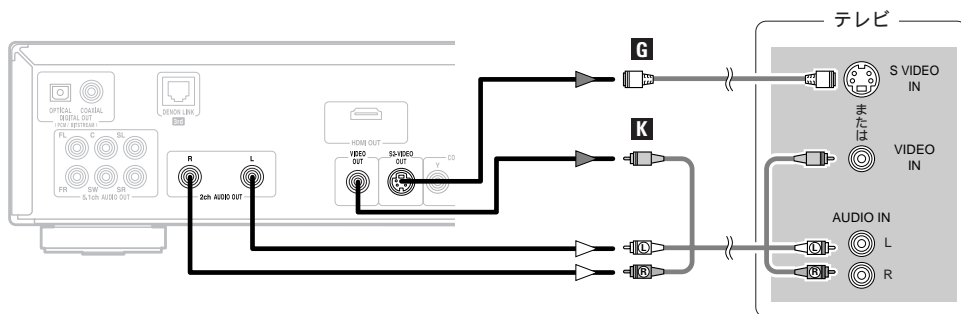
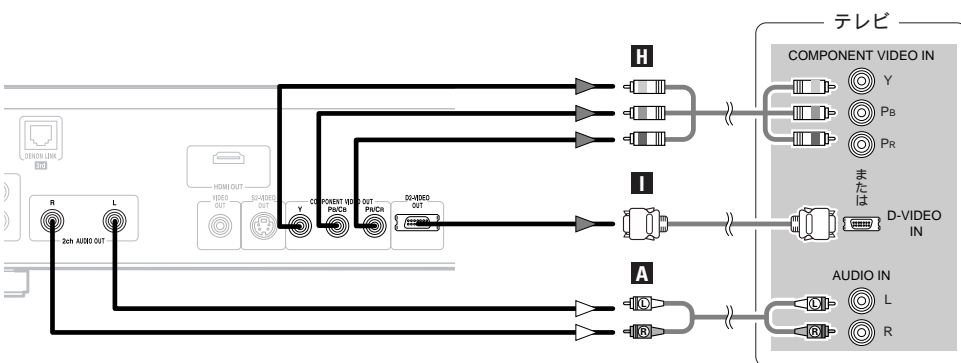
## 接続ケーブルの表示

下記に示す接続ケーブルを使用して接続してください。

### ご注意

- すべての接続が終わるまで、電源プラグをコンセントに差し込まないでください。
- 接続する機器の取扱説明書も必ずお読みください。
- 左右のチャンネルを確かめてから、正しくLとL、RとRを接続してください。
- 電源を入れたまま接続すると、雑音が発生し、スピーカーを破損する恐れがあります。
- 電源コードや接続ケーブルを一緒に束ねると、ハムや雑音の原因になることがあります。
- アンプのPHONO入力端子には接続しないでください。故障の原因となります。
- 本機の周囲環境は35°C以下となるように設置してください。

## テレビとの接続

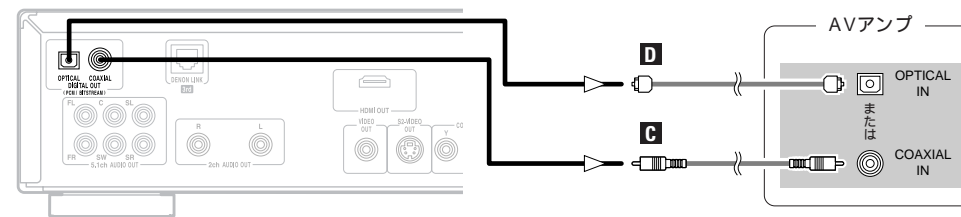
### ❑ 映像入力端子またはS映像入力端子付きテレビの場合

### ❑ 色差映像入力端子またはD映像入力端子付きテレビの場合

- 接続するテレビがプログレッシブスキャンに対応しているときは、色差映像出力端子またはD2映像出力端子と接続してください。
- 本機のプログレッシブ出力（525P）は、マクロビジョンコピーガード方式に対応しています。プログレッシブに対応していないテレビの場合は、「映像設定」の“ COMPONENT/D2出力 ”を“ INTERLACED ”に設定してください。
- D1入力テレビの場合は、「映像設定」の“ COMPONENT/D2出力 ”を“ INTERLACED ”に設定してください。

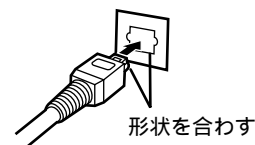
《接続のしかた》

**ご注意**

本機の映像出力は直接テレビに接続するか、AVアンプを経由してテレビに接続してください。VTR（ビデオテープレコーダ）経由で接続しないでください。
ディスクによってはコピー禁止信号が入っているものがあり、そのようなディスクをVTRを通して再生するとコピーガードシステムにより、画面が乱れることがあります。

## デコーダ内蔵のAVアンプとのデジタル接続

ドルビーデジタルまたはDTSで収録されたDVDを再生すると、本機のデジタル音声出力端子からドルビーデジタルまたはDTSのビットストリームを出力します。
ドルビーデジタルデコーダまたはDTSデコーダ内蔵のAVアンプに接続することで、映画館やホールにいるような迫力と臨場感ある音声を楽しむことができます。

**ご注意**

DTSに対応していないAVアンプ（デコーダ）と接続した場合、DTSで収録されたDVDを再生すると耳を刺激するような雑音が発生し、スピーカーを破損する恐れがあります。

- 光伝送ケーブル（市販）で接続するときは、形状を合わせて奥までしっかりと差し込んでください。

### ❑ 本機のデジタル音声出力端子から出力される音声について

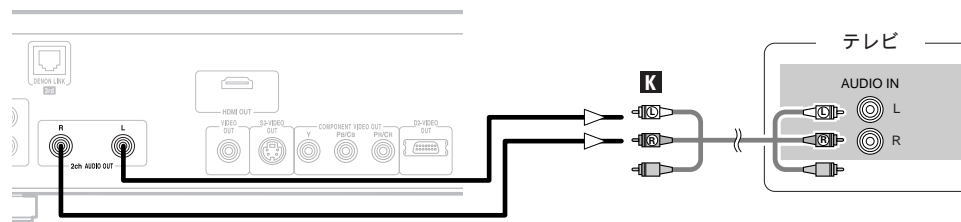
| ビットストリーム出力の場合 | | | |
|---|---|---|---|
| ディスクの種類 | 音声記録方式 | 初期設定「デジタル出力」 | |
| | | NORMAL | PCM変換 |
| DVDビデオ | ドルビーデジタル | ドルビーデジタル<br>ビットストリーム | 2チャンネルPCM<br>(48 kHz / 16 bit) |
| | DTS | DTS ビットストリーム | |

| PCM出力の場合 | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| ディスクの種類 | 音声記録方式 | | 初期設定「ダウンサンプリング」 | | |
| | | | 変換しない | | 変換する |
| | | | 著作権保護あり | 著作権保護なし | |
| DVDビデオ | リニアPCM | 48 kHz / 16 ~ 24 bit | 出力しない ＊1 | 48 kHz / 16 ~ 24 bit PCM | 48 kHz / 16 bit PCM |
| | | 96 kHz / 16 ~ 24 bit | 出力しない | 96 kHz / 16 ~ 24 bit PCM | |
| DVD<br>オーディオ | リニアPCM<br>または<br>パックドPCM | 44.1/88.2/176.4 kHz / 16 ~ 24 bit | 出力しない ＊2 | 44.1/88.2 kHz/16 ~ 24 bit ＊3 | 44.1 kHz / 16 bit PCM |
| | | 48/96/192 kHz / 16〜24bit | 出力しない ＊1 | 48/96 kHz/16〜24bit ＊3 | 48 kHz / 16 bit PCM |
| ビデオCD | MPEG1 | | 44.1 kHz / 16 bit PCM | | 44.1 kHz / 16 bit PCM |
| 音楽CD | 44.1 kHz / 16 bit リニアPCM | | | | |
| MP3 CD | MP3（MPEG-1 Audio Layer 3） | | 32/44.1/48 kHz / 16 bit PCM | | 32/44.1/48 kHz / 16 bit PCM |
| WMA CD | WMA（Windows Media Audio） | | | | |
| スーパーオーディオCD | DSD（Direct Stream Digital） | | 出力しない ＊4 | | 出力しない ＊4 |

＊1：48kHz/16bitのソースのみ出力
＊2：44.1kHz/16bitのソースのみ出力
＊3：176.4kHz/192kHzの信号は、それぞれ88.2kHz/96kHzに変換します。
＊4：CDレイヤー再生時は44.1kHz/16bitリニアPCMを出力

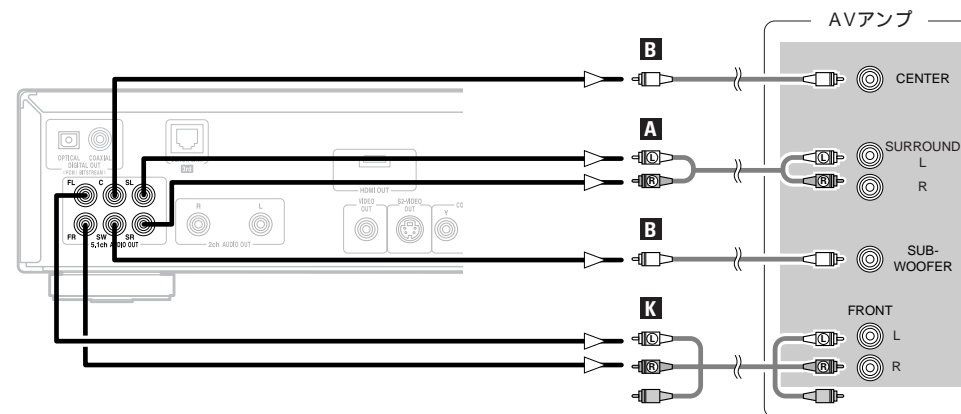
- **ビットストリーム**：
  圧縮され、デジタルに置き換えられた信号です。デコーダによって5.1chなどのマルチチャンネル音声にデコード（復号）されます。
- **リニアPCM（LPCM）**：
  圧縮せずにデジタルに置き換えられた音声信号です（音楽CDに用いられている信号記録方式）。音楽CDでは44.1kHz/16bitで記録されているのに対し、DVDでは44.1kHz/16bit〜192kHz/24bitで記録されていますので、音楽CDよりも高音質の再生が可能です。
- **パックドPCM（PPCM）**：
  PCM信号を圧縮したもので、元の信号に戻したときにデータ劣化がほとんどないという高音質圧縮信号です。
- PCM信号がマルチチャンネル収録されたDVDのソースを再生すると、2チャンネルにダウンミックスして出力します（本機のディスプレイに“ D.MIX ”表示を点灯）。
  ダウンミックスが禁止されているソースの場合は、FL/FRのみを出力します。



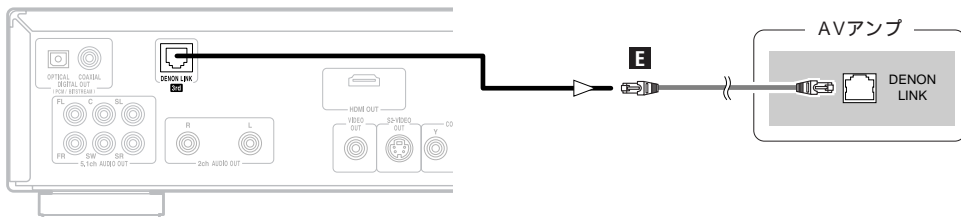
## アナログ2チャンネル音声入力がある機器との接続

**ご注意**

2チャンネル音声のステレオ機器と接続する場合は、2ch AUDIO OUT端子をご使用ください。5.1ch AUDIO OUTのFL、FR端子をご使用の場合は、“ 初期設定 ”で「音声設定」を“ 2CH（VSS OFF）”“ 2CH（VSS1 ON）”または“ 2CH（VSS2 ON）”に設定してください（☞ 25ページ）。マルチチャンネルで収録されているソフトでは、2チャンネルにダウンミックスされたアナログ音声を出力します。（ダウンミックスが禁止されているソースの場合は、FL/FRの信号のみを出力します。）

## アナログ5.1チャンネル音声入力がある機器とのサラウンド接続

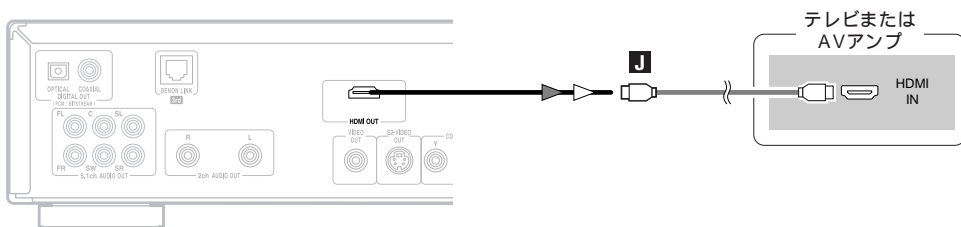
スーパーオーディオCDのマルチチャンネルやパックドPCMで記録されているマルチチャンネルの音声をお楽しみいただけます。

- 高品位なアナログ音声をお楽しみいただくために、“ ピュアダイレクト ”で“ デジタル出力 ”を“ しない ”（☞ 31ページ）に設定することをおすすめします。（デジタル出力系からの影響を最小限にできます。）

## DENON LINKの接続

DENON LINKに対応したAVアンプと接続すると、DVDオーディオやスーパーオーディオCDなどのマルチチャンネルをデジタル信号のまま伝送することができます。

- デジタル伝送ができるのは、192/176.4kHzでは24bit/2chまで、96kHz以下では24bit/6chまでです。
- DENON LINKの接続をする場合は必ず、接続するAVアンプのバージョンを確認してから"初期設定"の"DENON LINK"を設定（☞22ページ）してください。DENON LINKのバージョンが異なる端子同士の接続では音声が出なかったり、ノイズを再生することがあります。
- DENON LINKを設定時には、本機のアナログ音声出力端子（L/RおよびFL/FR）からダウンミックスされた音声信号が出力されます。5.1chアナログ音声端子をご使用の際には、初期設定でDENON LINK設定を"切"に設定してください。
- DENON LINK接続した場合、本機のスピーカー設定は無効になります。（スピーカー設定は、接続先のAVアンプで設定してください。）
- DENON LINK 2nd は、スーパーオーディオCDのマルチチャンネル/ステレオエリアの音声を伝送できません。

## HDMI端子付き機器との接続

HDMI端子付きの機器に、HDMIケーブル（別売り）を使用して接続すると、デジタル映像とマルチチャンネル音声の両方のデジタル伝送ができます。

### ❑ テレビやアンプなどの場合

### ❑ 接続するHDMI端子付き機器の音声設定（☞ 20ページ）

| 接続する機器 | HDMI音声の設定 | |
|---|---|---|
| **2ch音声入力に対応している機器または音声入力に対応していない機器** | 2CH | マルチチャンネル音声をアナログ音声出力端子およびDENON LINK端子からの音声出力で楽しむことができます。<br>HDMI出力端子からは、ダウンミックスされた2チャンネル音声信号を出力します。 |
| **DTSやドルビーデジタルのデコードに対応している機器** | マルチ（NORMAL） | DTSやドルビーデジタル信号を接続先のテレビやAVアンプなどでデコードできます。<br>（HDMI音声のスピーカー設定などはできません。） |
| **3ch以上の音声入力に対応している機器（DTSやドルビーデジタル非対応）** | マルチ（LPCM） | マルチチャンネル音声をHDMI端子からの音声出力で楽しむことができます。<br>HDMI音声のスピーカー設定などができます。 |

| ディスクの種類 | 音声記録方式 | HDMI音声 | | |
|---|---|---|---|---|
| | | 2CH | マルチ(NORMAL) | マルチ(LPCM) |
| **DVDビデオ** | ドルビーデジタル | 2チャンネルPCM | ドルビーデジタル | マルチPCM |
| | DTS | 2チャンネルPCM | DTS | マルチPCM |
| | PCM | 2チャンネルPCM | マルチPCM | マルチPCM |
| **DVDオーディオ** | LPCMまたはPPCM | 2チャンネルPCM | マルチPCM | マルチPCM |
| **ビデオCD** | | 2チャンネルPCM | 2チャンネルPCM | 2チャンネルPCM |
| **音楽CD** | | 2チャンネルPCM | 2チャンネルPCM | 2チャンネルPCM |
| **MP3 CD** | | 2チャンネルPCM | 2チャンネルPCM | 2チャンネルPCM |
| **WMA CD** | | 2チャンネルPCM | 2チャンネルPCM | 2チャンネルPCM |
| **スーパーオーディオCD** | マルチエリア | 出力しない | 出力しない | 出力しない |
| | ステレオエリア | 出力しない | 出力しない | 出力しない |
| | CDレイヤー | 2チャンネルPCM | 2チャンネルPCM | 2チャンネルPCM |

### ❑ HDMI/DVI-D変換ケーブル（アダプター）での接続について

- HDMIのビデオストリーム（映像信号）はDVI-Dと互換性があります。
  DVI-D端子付きテレビなどに接続する場合は、HDMI/DVI-D変換ケーブルで接続できますが、機器の組み合わせによっては映像が出力されない場合があります。
- HDMI/DVI-D変換アダプターをご使用の場合は、接続したケーブルとの接触不良などにより、正常に映像が出力されない場合があります。

| **本機のHDMI出力端子からの信号状況** | **HDMI対応モニター** | **DVI-D対応モニター（HDCP対応）** | **DVI-D対応モニター（HDCP非対応）** |
|---|---|---|---|
| | 映像/音声ともに出力する | 映像のみ出力する ＊ | 映像/音声ともに出力しない |

＊：映像信号はRGB形式でのみ出力します。

## ご注意

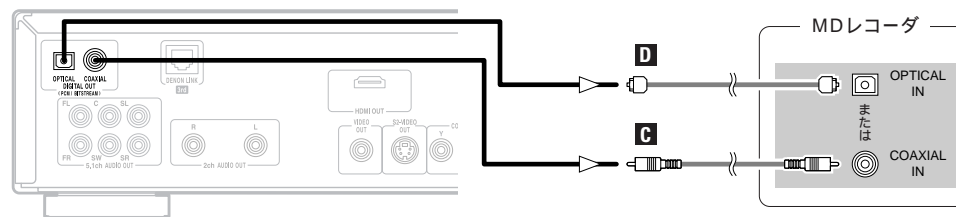
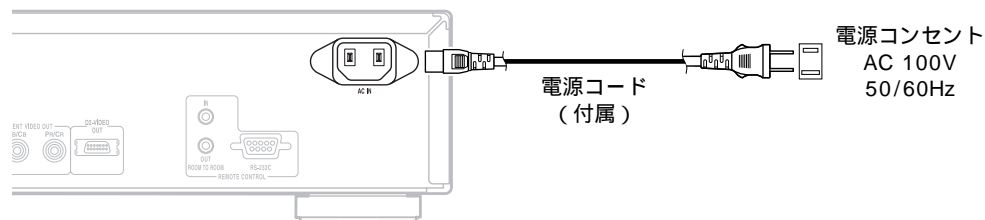
- スーパーオーディオCDのマルチ/ステレオエリアの音声はHDMI出力しません。
- CPPMで著作権保護されたDVDオーディオディスクの再生は、HDMI Ver.1.1対応機器同士でのみ可能です。（本機はHDMI Ver.1.1に対応しています。）
- HDMI対応機器の中には、HDMI端子経由で他の機器を制御できるものがありますが、本機をHDMI端子経由で他の機器からコントロールすることはできません。
- HDMI端子からの音声信号（サンプリング周波数、ビット長など）は、接続する機器により制限されることがあります。
- 接続するテレビやモニターの対応している解像度にあわせて、本機の解像度を設定してください。
- HDMIケーブルはHDMIロゴのついた（HDMI認証品）ケーブルをご使用ください。HDMIロゴのない（HDMI非認証品）ケーブルを使用した場合は正常に再生ができない場合があります。

### ❑ 著作権保護システムについて

HDMI接続を通してDVDビデオやDVDオーディオのデジタル映像と音声を再生するためには、プレーヤーとテレビやAVアンプなどの双方がHDCP (High-bandwidth Digital Content ProtectionSystem)と呼ばれる著作権保護システムに対応している必要があります。HDCPはデータの暗号化と相手機器の認証からなるコピープロテクション技術です。
本機はHDCPに対応しています。
HDCPに対応していない機器を接続した場合は、正常に映像が出力されません。お手持ちのテレビやAVアンプなどについては取扱説明書をご覧ください。

《接続のしかた》

## MDレコーダなどの録音機器とのデジタル接続

「音声設定」の " デジタル出力 " を " PCM変換 " (☞26ページ）に、" ダウンサンプリング " を " 変換する "（☞ 26ページ）に設定してください。
正しく設定せずにDVDを再生すると耳を刺激するような雑音が発生し、スピーカーを破損する恐れがあります。

## 電源コードの接続

## ご注意

電源プラグは確実に差し込んでください。不完全な接続は、雑音発生の原因になります。

# 初期設定のしかた

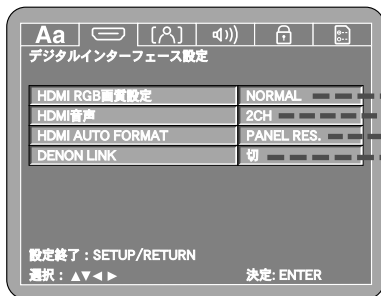
## 初期設定一覧表

### 言語設定

Aa
言語設定
音声言語 日本語
字幕言語 日本語
メニュー言語 日本語
OSD言語 日本語
設定終了：SETUP/RETURN
選択：▲▼◀▶ 決定: ENTER

| 項目 | 内　容 | 設　定　項　目　（＊印はお買い上げ時の設定） | | | | | | | 参照ページ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| **音声言語** | 出力される音声の言語を設定します。 | 英語 | | フランス語 | スペイン語 | ドイツ語 | 日本語 ＊ | その他 | 19 |
| **字幕言語** | テレビ画面に表示される字幕の言語を設定します。 | 切 | 英語 | フランス語 | スペイン語 | ドイツ語 | 日本語 ＊ | その他 | 19 |
| **メニュー言語** | ディスクに記録されているメニュー（トップメニューなど）の言語を設定します。 | 英語 | | フランス語 | スペイン語 | ドイツ語 | 日本語 ＊ | その他 | 19 |
| **OSD言語** | 初期設定画面の言語やテレビ画面に表示される“プレイ”などの言語を設定します。 | ENGLISH | | | | 日本語＊ | | | 19 |

### デジタルインターフェース設定

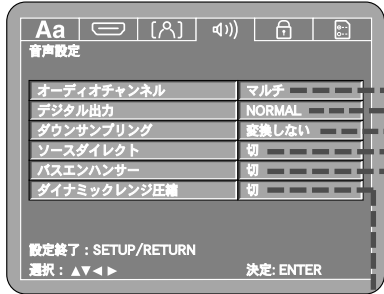
Aa
デジタルインターフェース設定
HDMI RGB画質設定 NORMAL
HDMI音声 2CH
HDMI AUTO FORMAT PANEL RES.
DENON LINK 切
設定終了：SETUP/RETURN
選択：▲▼◀▶ 決定: ENTER

| 項目 | | | 内　容 | 設　定　項　目　（＊印はお買い上げ時の設定） | | | | | | | 参照ページ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| **HDMI RGB画質設定** | | | HDMI端子から出力されるデジタルRGB映像レンジ（データ範囲）の設定をします。 | NORMAL ＊ | | | ENHANCED | | | | 20 |
| **HDMI音声** | | | HDMI端子から出力される音声を設定します。 | 2CH ＊ | | マルチ（NORMAL） | | マルチ（LPCM） | | | 20 |
| **HDMI音声** | **HDMIスピーカー設定**（“マルチ（LPCM）”選択時に設定可） | **スピーカー設定** | 接続した機器のスピーカーの組み合わせに対して、自動的に各チャンネルの成分や特性を設定します。 | フロント | センター | サブウーハー | サラウンド | CROSSOVER | | | 20、21 |
| | | | | 大 ＊ / 小 | 大 ＊ / 小 / （なし） | あり ＊/ （なし） | 大 ＊ / 小 / （なし） | 40 / 60 / 80 ＊ / 100 / 120Hz | | | |
| | | **チャンネルレベル** | 各スピーカーから出力されるテストトーンの音量が同じに聞こえるように、それぞれのスピーカーの音量を設定します。 | テストトーン | フロント左 | センター | フロント右 | サラウンド右 | サラウンド左 | サブウーハー | 21 |
| | | | | 切 / オート / マニュアル | 0 〜 −10dB（0dB ＊） | | | | | | |
| | | **ディレー時間** | リスニングポジションの距離に応じて各スピーカーやサブウーハーから出力される音声のタイミングを最適にするためのパラメーターです。 | 距離 | フロント左 / フロント右 / センター | | サラウンド左 / サラウンド右 | | サブウーハー | 初期化 | 22 |
| | | | | メートル ＊ / フィート | 0〜18m（3.6m ＊）（0〜60ft（12ft ＊）） | | 0〜18m（3.0m ＊） | | 0〜18m（3.6m＊） | オン | |
| **HDMI AUTO FORMAT** | | | リモコンのHDMI　FORMATボタンで選択する“AUTO”機能の設定をします。 | PANEL RES. ＊ | | | MAX RES. | | | | 22 |
| **DENON LINK** | | | 接続したAVアンプのDENON　LINKのバージョンにあわせてDENON LINK端子の出力の設定をします。 | 切 ＊ | | 2nd | | 3rd | | | 22 |

### 映像設定

| 項目 | 内　容 | 設　定　項　目　（＊印はお買い上げ時の設定） | | | | | 参照ページ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| **TVアスペクト** | 接続したテレビの画面に応じて設定します。 | 4：3 PS | | 4：3 LB | | ワイド ＊ | 23 |
| **TVタイプ** | 接続したテレビの映像方式に応じて設定します。 | NTSC ＊ | | PAL | | マルチ | 23 |
| **COMPONENT /D2出力** | 本機の色差映像出力およびD2映像出力の出力方式を設定します。 | PROGRESSIVE ＊ | | INTERLACED | | | 23 |
| **AVシンク** | 音声信号を同期させる映像出力を設定します。 | PROGRESSIVE ＊ | INTERLACED | HDMI | OTHERS | 0 ＊〜200msec (オフセット時間) | 24 |
| **スクイーズモード** | “TVアスペクト”で“ワイド”を選んだときに、出力する画面を設定します。 | 切 ＊ | | 入 | | オート | 24 |
| **プログレッシブモード** | 映像素材に最適なプログレッシブモードを設定します。 | オート ＊ | | ビデオ1 | | ビデオ2 | 24、25 |
| **水平表示範囲** | インターレース出力に対する水平表示範囲を設定します。 | フル ＊ | | スタンダート | | | 25 |

《初期設定のしかた》

## 音声設定

Aa
音声設定
オーディオチャンネル　マルチ
デジタル出力　NORMAL
ダウンサンプリング　変換しない
ソースダイレクト　切
バスエンハンサー　切
ダイナミックレンジ圧縮　切
設定終了：SETUP/RETURN
選択：▲▼◀▶　決定: ENTER

| 内 容 | | | | 設 定 項 目 （＊印はお買い上げ時の設定） | | | | | | | | 参照ページ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| オーディオチャンネル | 音声出力を設定します。 | | | マルチ＊ | 2CH（VSS OFF） | 2CH（VSS1 ON） | 2CH（VSS2 ON） | | | | | 25 |
| | スピーカー設定 | スピーカー設定 | 接続した機器のスピーカーの組み合わせに対して、自動的に各チャンネルの成分や特性を設定します。 | フロント | センター | サブウーハー | サラウンド | CROSSOVER | | | | 25 |
| | | | | 大 ＊ / 小 | 大 ＊ / 小 / なし | あり ＊/なし | 大 ＊ / 小 / なし | 40 / 60 / 80 ＊ / 100 / 120Hz | | | | |
| | | チャンネルレベル | 各スピーカーから出力されるテストトーンの音量が同じに聞こえるように、それぞれのスピーカーの音量を設定します。 | テストトーン | フロント左 | センター | フロント右 | サラウンド右 | サラウンド左 | サブウーハー | SW ＋10dB | 25 |
| | | | | 切 / オート / マニュアル | 0 〜 −10dB（0dB ＊） | | | | | | 切 ＊ / 入 | |
| | | ディレー時間 | リスニングポジションの距離に応じて各スピーカーやサブウーハーから出力される音声のタイミングを最適にするためのパラメーターです。 | 距離 | フロント左 | フロント右 | センター | サラウンド左 | サラウンド右 | サブウーハー | 初期化 | 25 |
| | | | | メートル ＊ / フィート | 0〜18m（3.6m ＊）（0〜60ft（12ft ＊）） | | | 0〜18m（3.0m ＊） | | 0〜18m（3.6m＊） | オン | |
| デジタル出力 | デジタル音声出力の信号形式を設定します。 | | | NORMAL ＊ | | | PCM変換 | | | | | 26 |
| ダウンサンプリング | リニアPCMまたはパックドPCMで収録されたDVDの再生時のデジタル音声出力を設定します。 | | | 変換しない ＊ | | | 変換する | | | | | 26 |
| ソースダイレクト | “オーディオチャンネル”の“スピーカー設定”をおこなわずにディスク情報をそのまま音声出力する場合に設定します。 | | | 切 ＊ | 50kHz | | | 100kHz | | | | 26、27 |
| バスエンハンサー | 2チャンネルなどLFE信号のないソースを再生しているときに、サブウーハーの出力を設定します。 | | | 切 ＊ | | | 入 | | | | | 27 |
| ダイナミックレンジ圧縮 | ドルビーデジタルで収録されたDVDの再生時に、出力する音のダイナミックレンジを設定します。 | | | 切 ＊ | | | 入 | | | | | 27 |

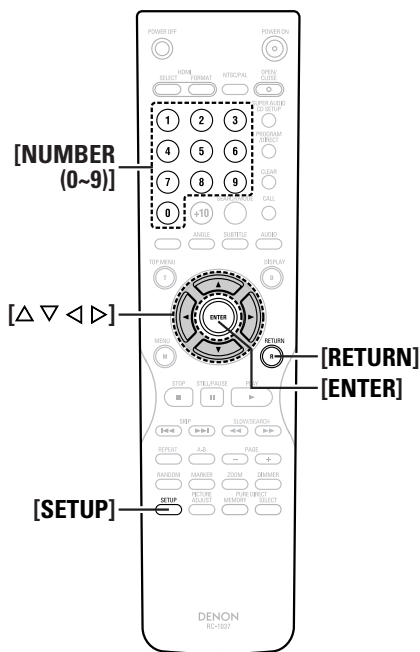
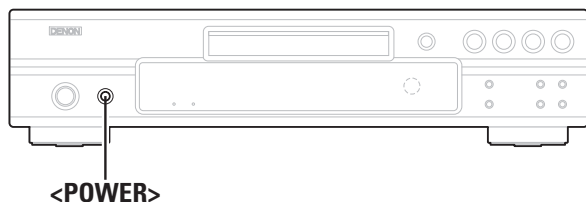
## 視聴制限設定

Aa
視聴制限設定
視聴制限レベル　制限しない
パスワード
登録コード
設定終了：SETUP/RETURN
選択：▲▼◀▶　決定: ENTER

| 内 容 | | 設 定 項 目 （＊印はお買い上げ時の設定） | | | | | | | | | 参照ページ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 視聴制限レベル | パスワード設定することでお子様などに見せたくない成人向けDVDの再生を制限（禁止）します。 | レベル 0 | レベル 1 | レベル 2 | レベル 3 | レベル 4 | レベル 5 | レベル 6 | レベル 7 | 制限しない ＊ | 28 |
| パスワード | “視聴制限レベル”で設定したパスワードを変更します。 | 変 更 | | | | | | | | | 28 |
| 登録コード | DivX® VOD（ビデオ オン デマンド）のサービスを利用して、DivX® VODフォーマットのビデオファイルを賃貸または購入するための登録コードを表示します。 | 表示 | | | | | | | | | 28、29 |

## 特殊設定

Aa
特殊設定
プレーヤーモード　オーディオ
キャプション　表示しない
壁紙　ピクチャー
スクリーンセーバー　切
ディスプレイ　切
オートパワーモード　切
スライド間隔時間　5 sec
設定終了：SETUP/RETURN
選択：▲▼◀▶　決定: ENTER

| 内 容 | | 設 定 項 目 （＊印はお買い上げ時の設定） | | | | 参照ページ |
|---|---|---|---|---|---|---|
| プレーヤーモード | DVDオーディオに含まれるDVDビデオコンテンツを再生するときの再生モードを設定します。 | オーディオ ＊ | | ビデオ | | 29 |
| キャプション | キャプションデコーダ（市販）による字幕表示をするときに、クローズド・キャプション（字幕）信号の出力を設定します。 | 表示しない ＊ | | 表示する | | 29 |
| 壁紙 | 停止中やCD再生中、テレビ画面に表示する画面の設定をします。 | ピクチャー ＊ | 黒色 | 灰色 | 青色 | 29 |
| スクリーンセーバー | スクリーンセーバー機能によってテレビ画面の焼き付きを防止します。 | 切 ＊ | | 入 | | 30 |
| ディスプレイ | ピュアダイレクト機能またはDIMMER機能でディスプレイを消灯させているときに操作した場合、操作内容を約2秒間表示させることができます。 | 切 ＊ | | 入 | | 30 |
| オートパワーモード | 停止状態で約30分経過すると本体の電源を自動的にスタンバイ状態に設定します。 | 切 ＊ | | 入 | | 30 |
| スライド間隔時間 | 静止画（JPEG方式）再生において、次の静止画に切り替わる間隔時間を設定します。 | 5〜15 sec（5 sec ＊） | | | | 30 |

【操作説明のボタン名について】
＜　　＞：本体のボタン
［　　］：リモコンのボタン
**ボタン名のみ**：本体とリモコンのボタン

## 初期設定の操作のしかた

**再生をはじめる前に、お客様のご使用状態に合わせて初期設定をおこなってください。**

**1** **すべての接続が正しいか確認する。**

**2** **テレビの電源を入れて、映像入力を本機の映像が見れるように切り替える。**

**3** **<POWER> を押す。**

| | |
|---|---|
| ▬ **ON**： | 電源表示が緑色に点灯します。 |
| ■ **OFF**： | 電源表示が消灯します。 |

**4** **［SETUP］を押す。**
- 初期設定画面を表示します。

**5** **［◁ ▷］で設定するアイコンを選ぶ。**

**6** **［△ ▽］で設定したい項目を選び、［ENTER］を押す。**

**7** **さらに［△ ▽］で設定したい項目を選び、［ENTER］を押す。**

**8** **設定が終わったら［SETUP］を押す。**

- 初期設定は電源を切っても次に変更するまで保持します。
- ディスクの再生中も、一部の項目を変更することができます。

## 言語設定のしかた（Aa）

**[◁ ▷] で“ Aa ”を選ぶ。**

### 1 [△ ▽] で設定したい項目を選び、[ENTER] を押す。

**音声言語：**
出力される音声の言語を設定します。

**字幕言語：**
テレビ画面に表示される字幕の言語を設定します。

**メニュー言語：**
ディスクに記録されているメニュー（トップメニューなど）の言語を設定します。

**OSD言語：**
初期設定画面の言語やテレビ画面に表示される“ プレイ ”などの言語を設定します。

### 2 [△ ▽] で設定したい言語を選び、[ENTER] を押す。

1

（“ 字幕言語 ” の “ 日本語 ” を選択時）

- “ その他 ” を選んだ場合は「言語番号一覧表」を参照して、[NUMBER (0 ~ 9)] でコード番号を入力してください。
- 字幕を表示させたくない場合は “ 字幕言語 ” で “ 切 ” を選んでください。ディスクによっては字幕表示を消すことができない場合もあります。



### ❑ 言語番号一覧表

| 番号 | 言語名 | 番号 | 言語名 | 番号 | 言語名 | 番号 | 言語名 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 4747 | アファル語 | 5271 | フリジア語 | 5868 | ラトビア語、レット語 | 6558 | スロベニア語 |
| 4748 | アブバジア語 | 5347 | アイルランド語 | 5953 | マダガスカル語 | 6559 | サモア語 |
| 4752 | アフリカーンス語 | 5350 | スコットランドゲール語 | 5955 | マオリ語 | 6560 | ショナ語 |
| 4759 | アムハラ語 | 5358 | ガルシア語 | 5957 | マケドニア語 | 6561 | ソマリ語 |
| 4764 | アラビア語 | 5360 | グアラニ語 | 5958 | マラヤーラム語 | 6563 | アルバニア語 |
| 4765 | アッサム語 | 5367 | グジャラート語 | 5960 | モンゴル語 | 6564 | セルビア語 |
| 4771 | アイマラ語 | 5447 | ハウサ語 | 5961 | モルダビア語 | 6565 | シスワティ語 |
| 4772 | アゼルバイジャン語 | 5455 | ヒンディ語 | 5964 | マラータ語 | 6566 | セストゥ語 |
| 4847 | バジキール語 | 5464 | クロアチア語 | 5965 | マレー語 | 6567 | スンダ語 |
| 4851 | ベラルーシ語 | 5467 | ハンガリー語 | 5966 | マルタ語 | 6568 | スウェーデン語 |
| 4853 | ブルガリア語 | 5471 | アルメニア語 | 5971 | ミャンマー語 | 6569 | スワヒリ語 |
| 4854 | ビハーリー語 | 5547 | 国際語 | 6047 | ナウル語 | 6647 | タミール語 |
| 4855 | ビスラマ語 | 5551 | 国際語 | 6051 | ネパール語 | 6651 | テルグ語 |
| 4860 | ベンガル語、バングラ語 | 5557 | イヌピック語 | 6058 | オランダ語 | 6653 | タジク語 |
| 4861 | チベット語 | 5560 | インドネシア語 | 6061 | ノルウェー語 | 6654 | タイ語 |
| 4864 | ブルトン語 | 5565 | アイスランド語 | 6149 | プロバンス語 | 6655 | ティグリニャ語 |
| 4947 | カタロニア語 | 5566 | イタリア語 | 6159 | アファン語 | 6657 | トゥルクメン語 |
| 4961 | コルシカ語 | 5569 | ヘブライ語 | 6164 | オリヤー語 | 6658 | タガログ語 |
| 4965 | チェコ語 | 5647 | 日本語 | 6247 | パンジャブ語 | 6660 | セツワナ語 |
| 4971 | ウェールズ語 | 5655 | イディッシュ語 | 6258 | ポーランド語 | 6661 | トンガ語 |
| 5047 | デンマーク語 | 5669 | ジャワ語 | 6265 | パシュトー語 | 6664 | トルコ語 |
| 5051 | ドイツ語 | 5747 | グルジア語 | 6266 | ポルトガル語 | 6665 | ツォンガ語 |
| 5072 | ブータン語 | 5757 | カザフ語 | 6367 | ケチュア語 | 6666 | タタール語 |
| 5158 | ギリシャ語 | 5758 | グリーンランド語 | 6459 | ラエティ＝ロマン語 | 6669 | トウィ語 |
| 5160 | 英語 | 5759 | カンボジア語 | 6460 | キルンディ語 | 6757 | ウクライナ語 |
| 5161 | エスペラント語 | 5760 | カンナダ語 | 6461 | ルーマニア語 | 6764 | ウルドゥ語 |
| 5165 | スペイン語 | 5761 | 韓国語 | 6467 | ロシア語 | 6772 | ウズベク語 |
| 5166 | エストニア語 | 5765 | カシミール語 | 6469 | キニャルワンダ語 | 6855 | ベトナム語 |
| 5167 | バスク語 | 5767 | クルド語 | 6547 | サンスクリット語 | 6861 | ボラピュク語 |
| 5247 | ペルシャ語 | 5771 | キルギス語 | 6550 | シンド語 | 6961 | ウォロフ語 |
| 5255 | フィンランド語 | 5847 | ラテン語 | 6553 | サンゴ語 | 7054 | コーサ語 |
| 5256 | フィジー語 | 5860 | リンガラ語 | 6554 | セルビアクロアチア語 | 7161 | ヨルバ語 |
| 5261 | フェロー語 | 5861 | ラオス語 | 6555 | シンハラ語 | 7254 | 中国語 |
| 5264 | フランス語 | 5866 | リトアニア語 | 6557 | スロバキア語 | 7267 | ズルー語 |

## デジタルインターフェース設定のしかた（ ）

**［◁ ▷］で“ ”を選ぶ。**

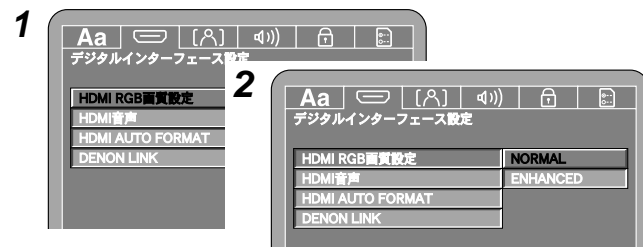
## HDMI RGB画質設定

HDMI端子から出力されるデジタルRGB映像レンジ（データ範囲）の設定をします。

**1 ［△ ▽］で“ HDMI RGB画質設定 ”を選び、［ENTER］を押す。**

**2 ［△ ▽］で設定したい項目を選び、［ENTER］を押す。**

**NORMAL**（お買い上げ時）：
“ 16（黒）” ～ “ 235（白）” で出力します。

**ENHANCED：**
“ 0（黒）” ～ “ 246（白）” で出力します。
※ ご使用のテレビによっては、HDMI接続時に黒色が浮くような場合があります。その際には “ ENHANCED ” に設定してください。

- HDMI端子の映像設定を “ YCbCr ”（☞ 32ページ）に設定した場合は効果がありません。

## HDMI音声

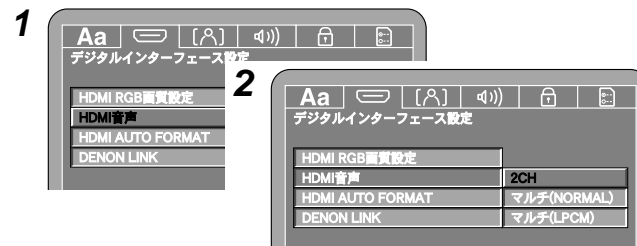
HDMI端子から出力される音声を設定します。

**1 ［△ ▽］で“ HDMI音声 ”を選び、［ENTER］を押す。**

**2 ［△ ▽］で設定したい項目を選び、［ENTER］を押す。**

**2CH**（お買い上げ時）：
2chのリニアPCM音声信号を出力します。

**マルチ（NORMAL）：**
マルチ（5.1ch）の音声信号を出力します。
※ 出力される信号
- ●ドルビーデジタル/DTSのディスク：ビットストリーム信号を出力
- ●リニアPCMのディスク：リニアPCM信号を出力

**マルチ（LPCM）：**
マルチ（5.1ch）の音声信号を出力します。
さらに、“ スピーカー設定 ”、“ チャンネルレベル ” および “ ディレー時間 ” の設定ができます（☞ 20～22ページ）。
※ 出力される信号
- ●ドルビーデジタル/DTSのディスク：デコードされたリニアPCM信号を出力
- ●リニアPCMのディスク：リニアPCM信号を出力

## HDMIスピーカー設定

“ HDMI音声 ” で “ マルチ（LPCM）” を選ぶと “ HDMIスピーカー設定 ” 画面を表示します。“ スピーカー設定 ”“ チャンネルレベル ”“ ディレー時間 ” をそれぞれ設定してください。

### ❑スピーカー設定

接続した機器のスピーカーの組み合わせに対して、自動的に各チャンネルの成分や特性を設定します。

**1 ［△ ▽］で“ マルチ（LPCM）”を選び、［ENTER］を押す。**

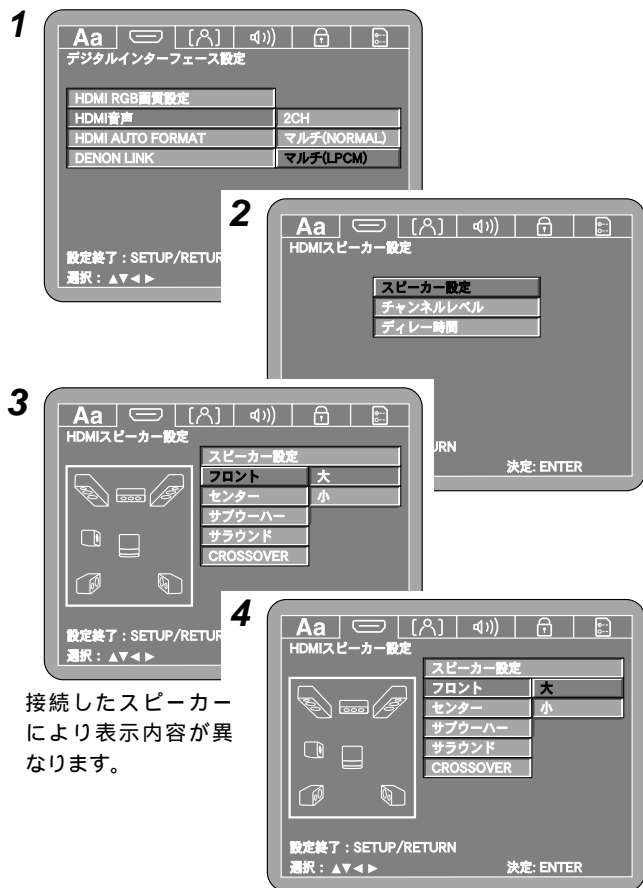
**2 ［△ ▽］で“ スピーカー設定 ”を選び、［ENTER］を押す。**

**3 ［△ ▽］でスピーカーを選び、［ENTER］を押す。**

**4 ［△ ▽］でスピーカーの種類を選び、［ENTER］を押す。**

**大**（お買い上げ時）**、小：**
低域再生能力が十分な大型スピーカーを接続しているときは “ 大 ”、十分でない小型スピーカーを接続しているときは “ 小 ” を選びます。

**HDMIスピーカー設定：**
HDMIスピーカー設定では “ なし ” を選択できません。

**CROSSOVER：**
“ 小 ” に設定されたスピーカーはクロスオーバー周波数以下の音をカットして出力します。カットされた低音域はサブウーハーまたは “ 大 ” に設定されたスピーカーから出力します。
- **40、60、80**（お買い上げ時）**、100、120Hz：**
  接続しているスピーカーの低音域の再生能力に合わせて選びます。

※ 接続したスピーカーにより表示内容が異なります。

● 設定画面に戻るとき：
［RETURN］を押す。

## ❑ チャンネルレベル

各スピーカーから出力されるテストトーンの音量が同じに聞こえるように、それぞれのスピーカーの音量を設定します。

**1** **HDMIスピーカー設定画面にて、［△ ▽］で“チャンネルレベル”を選び、［ENTER］を押す。**

**2** **［△ ▽］で“テストトーン”を選び、［◁ ▷］で設定して［ENTER］を押す。**

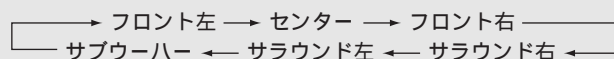
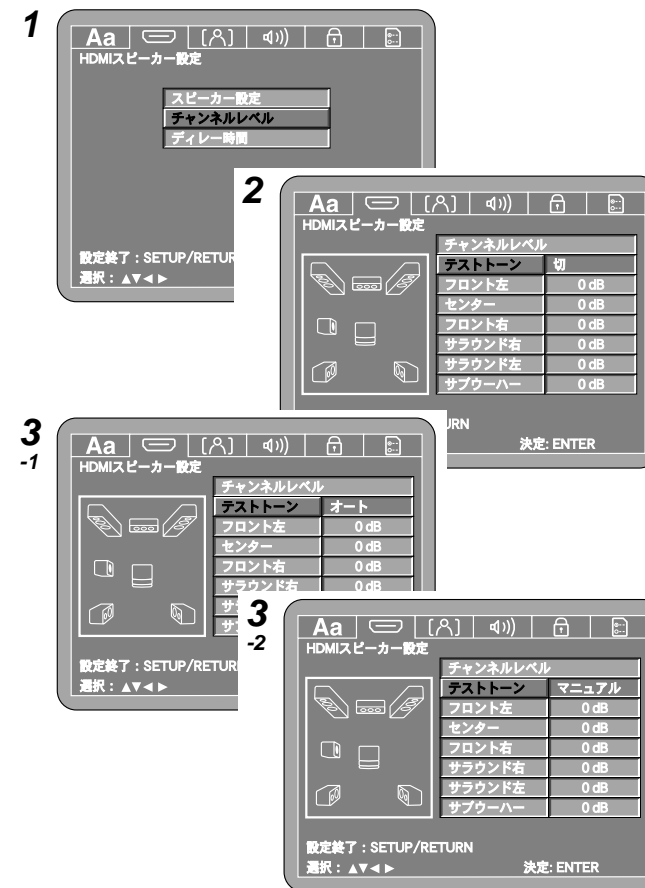
**切：**
テストトーンを出力しません。

**オート：**
各スピーカーより自動的に出力されるテストトーンを聴きながら音量を調整します。

**マニュアル：**
テストトーンを出力するスピーカーを手動で切り替えて音量を調整します。

**3-1** **“オート”を選んだとき：**
**［◁ ▷］で音量を調整する。**

- 音量は0dB〜−10dBの範囲内で調整できます。
- 下記の順序でテストトーンを自動的に出力します。

フロント左 → センター → フロント右 → サラウンド右 → サラウンド左 → サブウーハー →（フロント左へ戻る）

**3-2** **“マニュアル”を選んだとき：**
**［△ ▽］でスピーカーを選び、［◁ ▷］で音量を調整して［ENTER］を押す。**

● 設定画面に戻るとき：
［RETURN］を押す。

### ❑ディレー時間

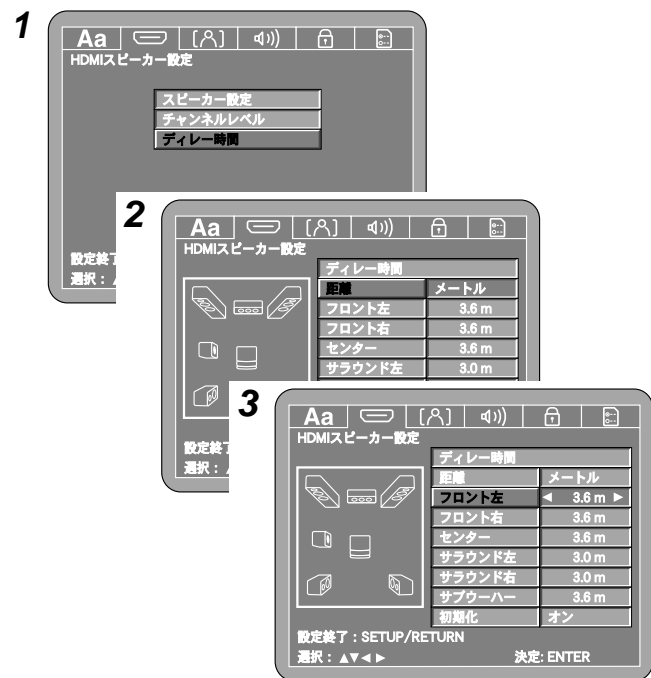
リスニングポジションの距離に応じて各スピーカーやサブウーハーから出力される音声のタイミングを最適にするためのパラメーターです。

**1** **HDMIスピーカー設定画面にて、[△ ▽] で“ディレー時間”を選び、[ENTER] を押す。**

**2** **[△ ▽] で“距離”を選び、[◁ ▷] で“メートル”または“フィート”を選ぶ。**

**3** **[△ ▽] でスピーカーを選び、[◁ ▷] で距離を設定する。**

- 距離は0m～18m（0ft～60ft）の範囲内で設定できます。

※“初期化”を選んで [ENTER] を押すと、ディレー時間の設定がお買い上げ時の設定に戻ります。

- 各スピーカーに設定した距離の差はどれも4.5m（15ft）以下にしてください。
- 設定画面に戻るとき：
  [RETURN] を押す。

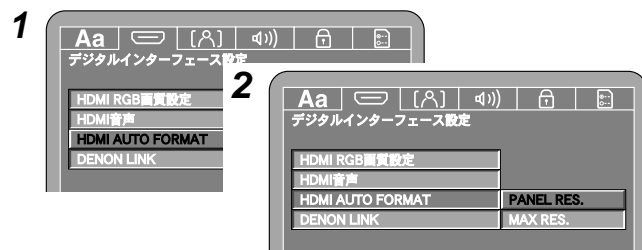
## HDMI AUTO FORMAT

リモコンのHDMI FORMATボタンで選択する“AUTO”機能の設定をします（☞ 32ページ）。

**1** **[△ ▽] で“HDMI AUTO FORMAT”を選び、[ENTER] を押す。**

**2** **[△ ▽] で設定したい項目を選び、[ENTER] を押す。**

**PANEL RES.**（お買い上げ時）**：**
接続したHDMI機器のパネル画素数を検出し、HDMI出力解像度を自動で選びます。

**MAX RES.：**
接続したHDMI機器に入力できる最大の解像度を検出し、HDMI出力解像度を自動で選びます。

## DENON LINK

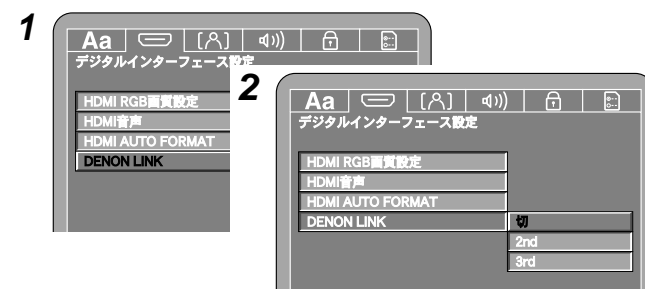
接続したAVアンプのDENON LINKのバージョンにあわせてDENON LINK端子の出力の設定をします。

**1** **[△ ▽] で“DENON LINK”を選び、[ENTER] を押す。**

**2** **[△ ▽] で設定したい項目を選び、[ENTER] を押す。**

**切**（お買い上げ時）**：**
DENON LINK端子からデジタル音声信号を出力しません。
DENON LINK接続をしないときに選びます。

**2nd：**
DENON LINK 2nd Edition 形式で信号を出力します。
次のデジタル音声信号の伝送が可能です：
DVDオーディオ/DVDビデオ/音楽用CD/ビデオCD

**3rd：**
DENON LINK 3rd Edition 形式で信号を出力します。
次のデジタル音声信号の伝送が可能です：
スーパーオーディオCD/DVDオーディオ/DVDビデオ/音楽用CD/ビデオCD

- 接続したAVアンプのDENON LINKのバージョンに対するDENON LINKの設定は下記の通りです。

| AVアンプのDENON LINKバージョン | DENON LINK設定 |
|---|---|
| 2nd Edition（端子近傍に“S.E.”表示有） | “2nd” |
| 3rd Edition（端子近傍に“3rd”表示有） | “3rd”（または 2nd） |

《初期設定のしかた》

## 映像設定のしかた（[[人]]）

**[◁ ▷] で“ [人] ”を選ぶ。**

### TVアスペクト

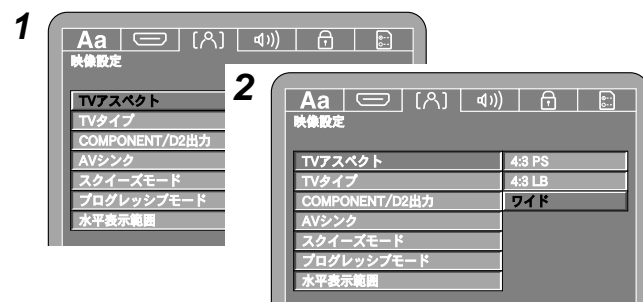
接続したテレビの画面に応じて設定します。

**1 [△ ▽] で“ TVアスペクト ”を選び、[ENTER] を押す。**

**2 [△ ▽] で設定したい項目を選び、[ENTER] を押す。**

**4：3 PS：**
画面の縦横の比が、4対3のテレビに接続したときに選びます。ワイド画面で記録されているソフトでは、パン＆スキャン（左右の切れた画面）で再生します。ただし、パン＆スキャン指定されていないソフトはレターボックス（上下に黒い帯のある画面）で再生します。

**4：3 LB：**
画面の縦横の比が、4対3のテレビに接続したときに選びます。ワイド画面で記録されているソフトはレターボックスで再生します。

**ワイド（お買い上げ時）：**
ワイドテレビに接続したときに選びます。
ワイド画面で記録されているソフトはフル画面で再生します。

### TVタイプ

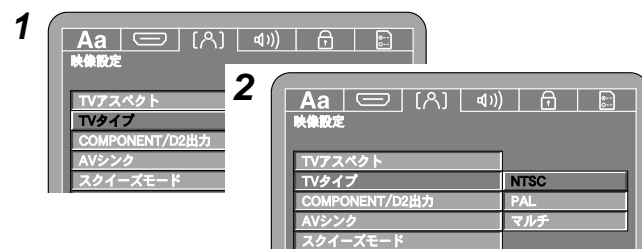
接続したテレビの映像方式に応じて設定します。
**日本国内の映像方式は“ NTSC ”です。**

**1 [△ ▽] で“ TVタイプ ”を選び、[ENTER] を押す。**

**2 [△ ▽] で設定したい項目を選び、[ENTER] を押す。**

**NTSC（お買い上げ時）：**
接続したテレビがNTSC方式のときに選びます。

**PAL：**
接続したテレビがPAL方式のときに選びます。

**マルチ：**
接続したテレビがNTSC方式とPAL方式を兼用しているときに選びます。

- 接続したテレビの映像方式と違う方式を設定した場合、映像は正しく映りません。

### COMPONENT/D2出力

本機の色差映像出力およびD2映像出力の出力方式を設定します。

**1 [△ ▽] で“ COMPONENT/D2出力 ”を選び、[ENTER] を押す。**

**2 [△ ▽] で設定したい項目を選び、[ENTER] を押す。**

**PROGRESSIVE（お買い上げ時）：**
プログレッシブ方式に設定します。
インターレースに比べて画面のちらつきが少ない方式です。

**INTERLACED：**
インターレース方式に設定します。

- HDMI端子から映像出力する場合、色差映像端子および、D2映像端子からの映像出力はインターレースになります。

## AVシンク

音声信号を同期させる映像出力を設定します。

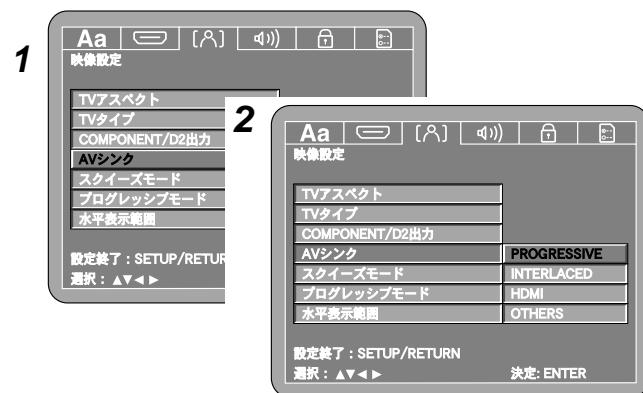
**1** **［△ ▽］で“ AVシンク ”を選び、［ENTER］を押す。**

**2** **［△ ▽］で設定したい項目を選び、［ENTER］を押す。**

**PROGRESSIVE（お買い上げ時）：**
プログレッシブ方式と音声を同期させます。

**INTERLACED：**
インターレース方式と音声を同期させます。

**HDMI：**
HDMI方式と音声を同期させます。

**OTHERS：**
プログレッシブ映像、インターレース映像およびHDMI映像を同時に見たいときに選びます。
音声信号がそれぞれの映像と最良のタイミングに設定されます。（同期はしません。）
※ 音声信号を同期させたい場合は、“ OTHERS ” 以外の設定にしてください。

## オフセット時間

“ AVシンク ” で設定すると、“ オフセット時間 ” の設定項目が表示されます。

**［△ ▽］で設定して、［ENTER］を押す。**
- 0〜200 msec の範囲内で設定できます。

## スクイーズモード

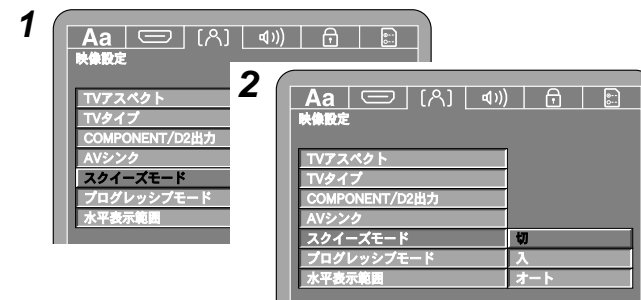
“ TVアスペクト ” で “ ワイド ” を選んだときに（☞ 23ページ）、出力する画面のサイズを設定します。

**1** **［△ ▽］で “ スクイーズモード ” を選び、［ENTER］を押す。**

**2** **［△ ▽］で設定したい項目を選び、［ENTER］を押す。**

**切（お買い上げ時）：** 
映像のサイズにかかわらず、16：9のテレビ画面全体に表示します。

**入：**
映像のサイズにかかわらず、16：9のテレビ画面中央に4：3の映像比率で表示します。

**オート：**
4：3の映像を再生したとき、16：9のテレビ画面中央に4：3の映像比率で表示します。

- インターレース映像出力では効果がありません。

## プログレッシブモード

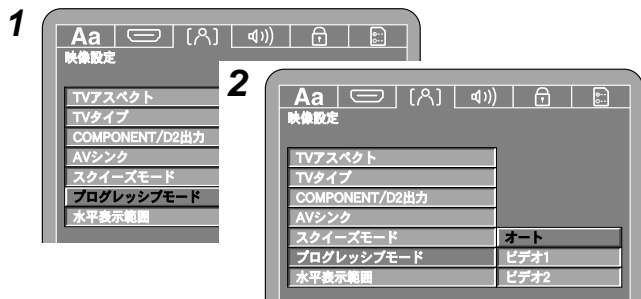
映像素材に最適なプログレッシブモードを設定します。

**1** **［△ ▽］で “ プログレッシブモード ” を選び、［ENTER］を押す。**

**2** **［△ ▽］で設定したい項目を選び、［ENTER］を押す。**

**オート（お買い上げ時）：**
ディスクから素材のタイプ（フィルムまたはビデオ）を自動的に判定してモードを切り替えます。

**ビデオ1：**
ビデオ素材のディスク再生に適しています。

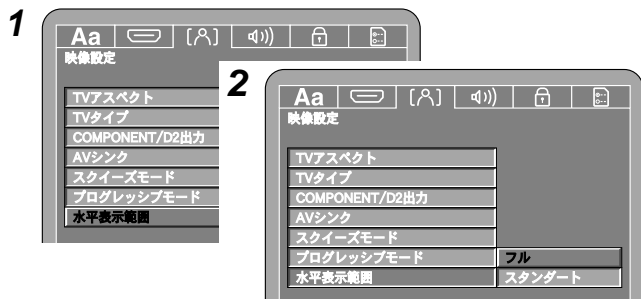
**ビデオ2：**
ビデオ素材のディスクまたは30フレームのフィルム素材のディスク再生に適しています。

## 水平表示範囲

インターレース出力に対する水平表示範囲を設定します。

**1** **［△　▽］で“ 水平表示範囲 ”を選び、［ENTER］を押す。**

**2** **［△　▽］で設定したい項目を選び、［ENTER］を押す。**

**フル**（お買い上げ時）**：**
一般的な民生用テレビを接続している場合に選びます。

**スタンダート：**
業務用モニターを接続している場合で、映像の同期が乱れるときに選びます。

## 音声設定のしかた（　）

**［◁ ▷］で“ 　 ”を選ぶ。**

## オーディオチャンネル

音声出力を設定します。

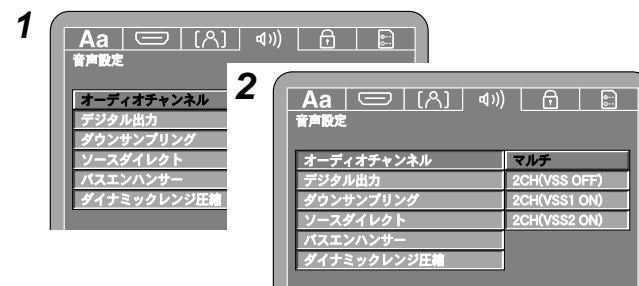
**1** **［△　▽］で“ オーディオチャンネル ”を選び、［ENTER］を押す。**

**2** **［△　▽］で設定したい項目を選び、［ENTER］を押す。**

**マルチ**（お買い上げ時）**：**
スピーカーを3本以上使用するときに選びます。
“ スピーカー設定 ”、“ チャンネルレベル ” および “ ディレー時間 ” の設定画面になります。

**2CH（VSS OFF）：**
スピーカーを2本とドルビープロロジックデコーダ（ドルビープロロジック対応アンプ）を使用するときに選びます。

**2CH（VSS1 ON）：**
スピーカーを2本接続したシステムのときに自然なサラウンド効果を楽しめます。

**2CH（VSS2 ON）：**
スピーカーを2本接続したシステムのときにVSS1よりも強調したサラウンド効果を楽しめます。

- “ スピーカー設定 ”、“ チャンネルレベル ” および “ ディレー時間 ” の設定方法は、“ HDMI音声 ” で “ マルチ（LPCM）” を選んだときの設定方法と同じです（☞ 20ページ）。
- “ チャンネルレベル ” の “ SW ＋10dB ” で “ 入 ” を選ぶと、サブウーハーから出力する音量を10dB高く設定できます。

### ❑ V.S.S.（バーチャル サラウンド サウンド）について

- V.S.S.機能を使うと音に広がりを与え、2本のスピーカー（L/R）だけでサラウンドの効果を楽しむことができます。
- ドルビーデジタル、DTS、MPEG、LPCM2ch以上で収録されたDVDのみ有効です。
- ディスクによっては効果が出にくいものや、出ないものがあります。
- ディスクによっては音声がひずむことがあります。その場合はV.S.S.機能を “ OFF ” に設定してください。
- 他のサラウンド機能（テレビのサラウンドなど）は解除してお使いください。
- もっとも効果を楽しめるリスニングポジションは、フロントピーカーの間隔（テレビのスピーカーを使用する場合は、テレビの横幅）の3〜4倍離れた位置です。目安にしてください。

《初期設定のしかた》

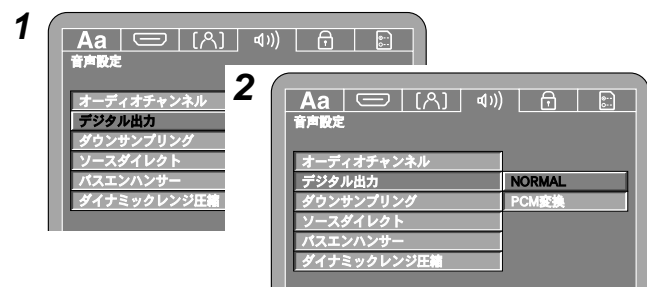
## デジタル出力

デジタル音声出力の信号形式を設定します。

**1 [△ ▽] で " デジタル出力 " を選び、[ENTER] を押す。**

**2 [△ ▽] で設定したい項目を選び、[ENTER] を押す。**

**NORMAL（お買い上げ時）：**
本機のデジタル音声出力端子をドルビーデジタルまたはDTSデコーダ内蔵AVアンプに接続するときに選びます。
ドルビーデジタルまたはDTSで収録されたディスクを再生したとき、それぞれのビットストリーム信号を出力します。

**PCM変換：**
ドルビーデジタルまたはDTSで収録されたディスクを再生したときは、48kHz/16bitのPCM（2ch）に変換して出力します。

- リニアPCMまたはパックドPCMで収録されたディスクを再生したときは、設定にかかわらずリニアPCMで出力します。

## ダウンサンプリング

リニアPCMまたはパックドPCMで収録されたDVDの再生時のデジタル音声出力を設定します。

**1 [△ ▽] で " ダウンサンプリング " を選び、[ENTER] を押す。**

**2 [△ ▽] で設定したい項目を選び、[ENTER] を押す。**

**変換しない（お買い上げ時）：**
著作権保護のないリニアPCMおよびパックドPCM信号が収録されたDVDの場合、96kHzまでの2ch音声については変換せずにそのままのリニアPCM信号をデジタル出力します。
（192kHz/176.4kHzの信号については、それぞれ96kHz/88.2kHzに変換します。）

**変換する：**
リニアPCMおよびパックドPCM信号を48kHz以下に変換して出力します。
※ 192kHz/176.4kHz/96kHz/88.2kHz未対応のAVアンプなどにデジタル接続する場合は " 変換する " に設定してください。

- マルチチャンネルのPCM信号が収録されたDVDでは、2チャンネルにダウンミックスされたデジタル信号を出力します。（ダウンミックスが禁止されているソースでは、FL/FR信号のみ出力します。）
- 著作権保護のあるリニアPCMおよびパックドPCMのDVDを再生する場合、48kHz/16bitを超えるソースは著作権への配慮からデジタル出力されません。
  このようなソースを再生する場合は " 変換する " に設定するか、DENON　LINKまたはアナログ接続（☞ 12、13ページ）をおこなってください。

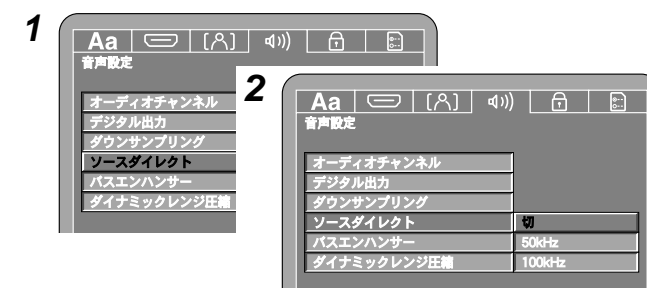
## ソースダイレクト

" オーディオチャンネル " の " スピーカー設定 " をおこなわずにディスク情報をそのまま音声出力する場合に設定します。
この設定をおこなうと、DTS推奨の全チャンネルフル帯域再生をお楽しみいただけます。（ただし、サブウーハーの音量が5dB、スーパーオーディオCDで15dB大きくなりますので注意してください。）
また、全チャンネルフル帯域周波数で収録されたDVD AUDIOの6チャンネルソースの再生もお楽しみいただけます。

**1 [△ ▽] で " ソースダイレクト " を選び、[ENTER] を押す。**

**2 [△ ▽] で設定したい項目を選び、[ENTER] を押す。**

**切（お買い上げ時）：**
" スピーカー設定 " および " バスエンハンサー " の設定をおこなって再生するときに選びます。

**50kHz、100kHz：**
スーパーオーディオCDのディスクを再生した場合、それぞれの周波数より高い周波数をカットします。
※ 高域対応のアンプと接続した場合は、" 100kHz " に設定してください。

- “ 100kHz ” を設定する際は、接続したアンプやスピーカーの帯域を確認してください。接続した機器が破損する場合があります。
- “ 50kHz ”、“ 100kHz ” に設定すると、スピーカーサイズはすべて “ 大 ” にサブウーハーは “ あり ” に設定されます。DVDオーディオを再生する場合は、アナログ接続をおこなってください。
- “ 50kHz ”、“ 100kHz ” に設定しても “ チャンネルレベル ” と “ ディレイ時間 ” の設定は有効です。

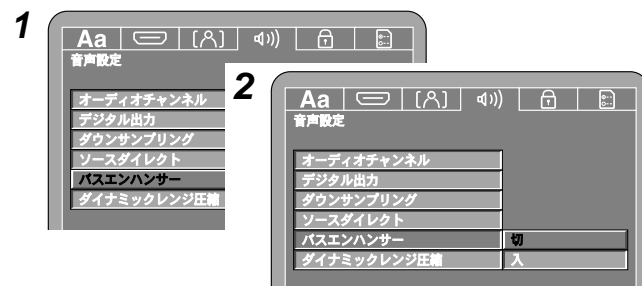
## バスエンハンサー

2チャンネルなどLFE信号のないソースを再生しているときに、サブウーハーの出力を設定します。

**1** **[△ ▽] で“ バスエンハンサー ”を選び、[ENTER] を押す。**

**2** **[△ ▽] で設定したい項目を選び、[ENTER] を押す。**

**切**（お買い上げ時）**：**
サブウーハーから音声を出力しません。

**入：**
サブウーハーから音声を出力します。
※“ スピーカー設定 ” の “ サブウーハー ” は “ あり ” に設定してください。

- アナログ出力のみ有効です。
- “ ソースダイレクト ” が “ 50kHz ”、“ 100kHz ” の場合は無効です。



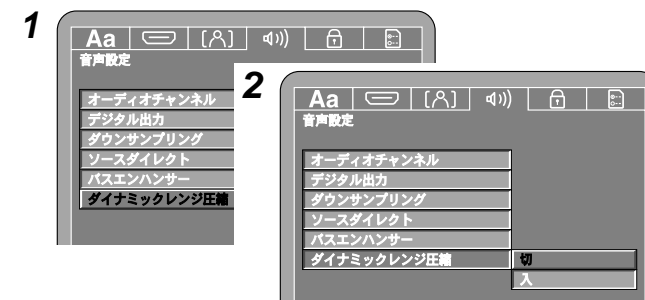
## ダイナミックレンジ圧縮

ドルビーデジタルで収録されたDVDの再生時に、出力する音のダイナミックレンジを設定します。

**1** **[△ ▽] で“ ダイナミックレンジ圧縮 ” を選び、[ENTER] を押す。**

**2** **[△ ▽] で設定したい項目を選び、[ENTER] を押す。**

**切**（お買い上げ時）**：**
標準的なダイナミックレンジを再生します。

**入：**
小さい音量でも迫力のある音で再生します。
深夜など小さい音量で楽しまれる場合に適しています。

- **ダイナミックレンジ：**
  機器が出すノイズに埋もれてしまわない最小音と、音割れしない最大音との音量差のことです。

## 視聴制限設定のしかた（ ）

**[◁ ▷] で “ ” を選ぶ。**

### 視聴制限レベル

パスワード設定することでお子様などに見せたくない成人向けDVDの再生を制限（禁止）します。

**1** **[△ ▽] で “ 視聴制限レベル ” を選び、[ENTER] を押す。**

**2** **[△ ▽] で設定レベルを選び、[ENTER] を押す。**

**レベル0：**
すべてのDVDの再生を制限します。

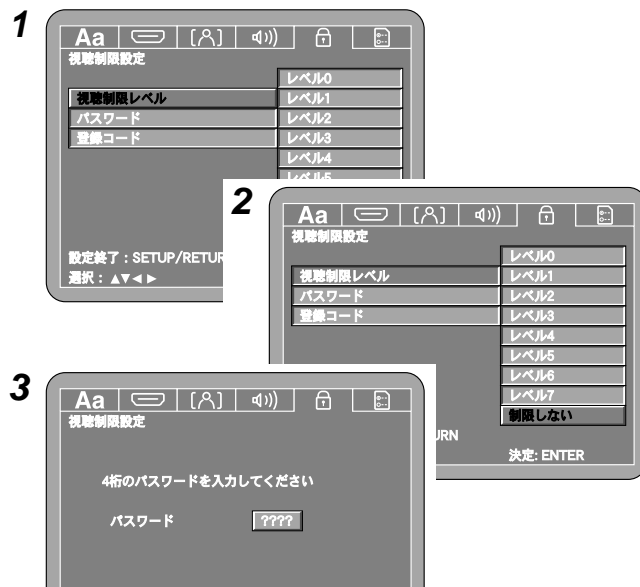
**レベル1：**
成人向けと一般向けのDVDの再生を制限します。
子供向けのDVDのみを再生したいときに選びます。

**レベル2～レベル7：**
成人向けDVDの再生を制限します。
子供向けと一般向けのDVDのみを再生したいときに選びます。

**制限しない**（お買い上げ時）**：**
すべてのDVDを再生します。

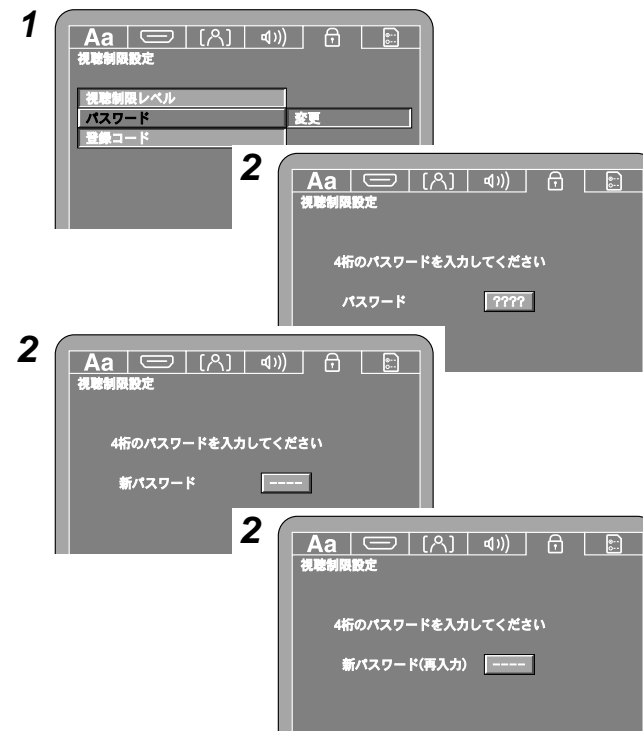
**3** **[NUMBER (0 ~ 9)] でパスワード（4桁）を入力し、[ENTER] を押す。**

※ パスワードの初期設定は “ 0000 ” です。

- ディスクに視聴制限レベルが記録されている場合は、パスワード入力画面が表示されます。
- ディスクに視聴制限レベルが記録されていない場合は視聴制限はできません。

### パスワード

“ 視聴制限レベル ” で使用するパスワードを変更します。

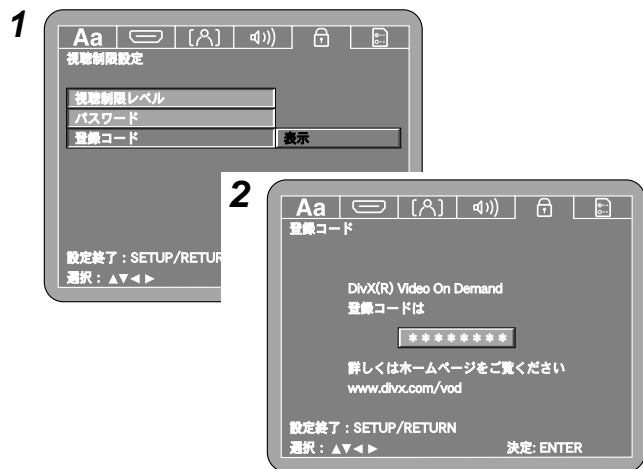
**1** **[△ ▽] で “ パスワード ” を選び、[▷] で “ 変更 ” を選んで [ENTER] を押す。**

**2** **[NUMBER (0 ~ 9)] でパスワード（4桁）を入力（パスワード → 新パスワード → 新パスワード（再入力））し、[ENTER] を押す。**

- パスワードは忘れないようにしてください。
  万一忘れた場合は、初期設定の内容をお買い上げ時に戻してください（☞ 49ページ）。

### 登録コード

DivX® VOD（ビデオ オン デマンド）のサービスを利用して、DivX® VODフォーマットのビデオファイルを賃貸または購入するための登録コードを表示します。

**1** **[△ ▽] で “ 登録コード ” を選ぶ。**

**2** **[▷] で “ 表示 ” を選び、[ENTER] を押す。**
- 8桁の登録コードを表示します。

- 詳しくはURL：『http://www.divx.com/vod』をご覧ください。

## 特殊設定のしかた（ ）

［◁ ▷］で“ ”を選ぶ。

### プレーヤーモード

DVDオーディオに含まれるDVDビデオコンテンツを再生するときの再生モードを設定します。

**1** ［△ ▽］で“プレーヤーモード”を選び、［ENTER］を押す。

**2** ［△ ▽］で再生モードを選び、［ENTER］を押す。

**オーディオ**（お買い上げ時）：
DVDオーディオをそのまま再生します。

**ビデオ：**
DVDオーディオに含まれるDVDビデオコンテンツを再生します。

### キャプション

キャプションデコーダ（市販）による字幕表示をするときに、クローズド・キャプション（字幕）信号の出力を設定します。

**1** ［△ ▽］で“キャプション”を選び、［ENTER］を押す。

**2** ［△ ▽］で設定したい項目を選び、［ENTER］を押す。

**表示しない**（お買い上げ時）**、表示する：**
字幕を画面に表示させないときは“表示しない”、表示させるときは“表示する”を選びます。

- 字幕を表示させるには、キャプションデコーダが必要です。
- 字幕信号入りのDVDには、“ ”、“ ”または“ ”マークが表示されています。

### 壁紙

停止中やCDなどを再生中、テレビ画面に表示する画面の設定をします。

**1** ［△ ▽］で“壁紙”を選び、［ENTER］を押す。

**2** ［△ ▽］で設定したい項目を選び、［ENTER］を押す。

**ピクチャー**（お買い上げ時）**、黒色、灰色、青色：**
テレビ画面をピクチャー、黒色、灰色または青色に設定します。

## スクリーンセーバー

スクリーンセーバー機能によってテレビ画面の焼き付きを防止します。

**1** **［△　▽］で“スクリーンセーバー”を選び、［ENTER］を押す。**

**2** **［△　▽］で設定したい項目を選び、［ENTER］を押す。**

**切**（お買い上げ時）**：**
スクリーンセーバー機能は働きません。

**入：**
停止や一時停止などの状態が約5分続くとスクリーンセーバー機能が働きます。

## ディスプレイ

ピュアダイレクト機能またはDIMMER機能でディスプレイを消灯させているときに操作した場合、操作内容を約2秒間表示させることができます。

**1** **［△　▽］で“ディスプレイ”を選び、［ENTER］を押す。**

**2** **［△　▽］で設定したい項目を選び、［ENTER］を押す。**

**切**（お買い上げ時）**、入：**
ディスプレイを点灯させないときは“切”、点灯させるときは“入”を選びます。

## オートパワーモード

停止状態で約30分経過すると本体の電源を自動的にスタンバイ状態に設定します。

**1** **［△　▽］で“オートパワーモード”を選び、［ENTER］を押す。**

**2** **［△　▽］で設定したい項目を選び、［ENTER］を押す。**

**切**（お買い上げ時）**、入：**
電源を自動的にスタンバイ状態にしないときは“切”、スタンバイ状態にするときは“入”を選びます。



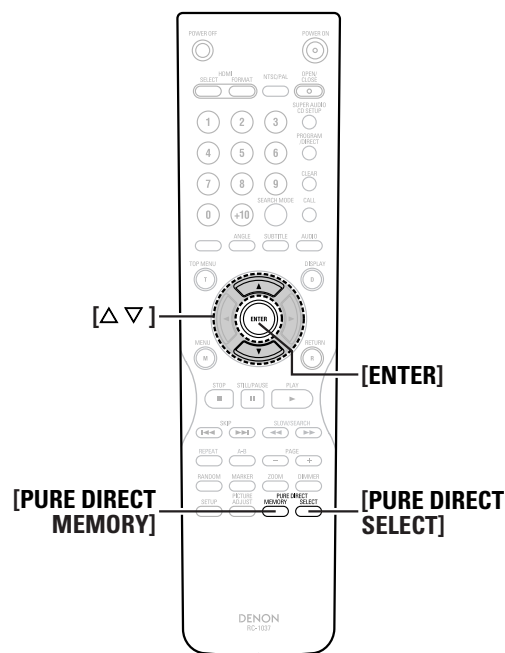
## スライド間隔時間

静止画（JPEG方式）再生において、次の静止画に切り替わる間隔時間を設定します。

**1** **［△▽］で“スライド間隔時間”を選び、［ENTER］を押す。**

**2** **［△▽］で設定時間を選び、［ENTER］を押す。**

**5**（お買い上げ時）**〜15 sec：**
選んだ時間で静止画が切り替わります。

# その他の設定のしかた

**【操作説明のボタン名について】**

<　　>：本体のボタン
[　　]：リモコンのボタン
**ボタン名のみ**：本体とリモコンのボタン

## ピュアダイレクトの使いかた

映像信号などの出力を止め、アナログ音声信号のみを出力することで高音質な音声が楽しめます。

### 1 停止中に［PURE DIRECT MEMORY］を押す。

● ピュアダイレクトメモリー画面を表示します。

### 2 ［△▽］で“ モード1 ”または“ モード2 ”を選び、［ENTER］を押す。

### 3 ［△　▽］で設定したい項目を選び、［ENTER］を押してから［△▽］で設定する。

**デジタル出力：**

● **する**（お買い上げ時）、**しない：**
デジタル音声出力端子に信号を出力するかどうかを選びます。

※ DENON LINKのデジタル出力には機能しません。

**ビデオ出力：**

● **する**（お買い上げ時）、**しない：**
映像信号を出力するかどうかを選びます。

**ディスプレイ：**

● **する**（お買い上げ時）、**しない：**
本機のディスプレイを点灯させるかどうかを選びます。

### 4 ［PURE DIRECT MEMORY］を押す。

● 設定した内容を“ モード1 ”または“ モード2 ”に記憶します。

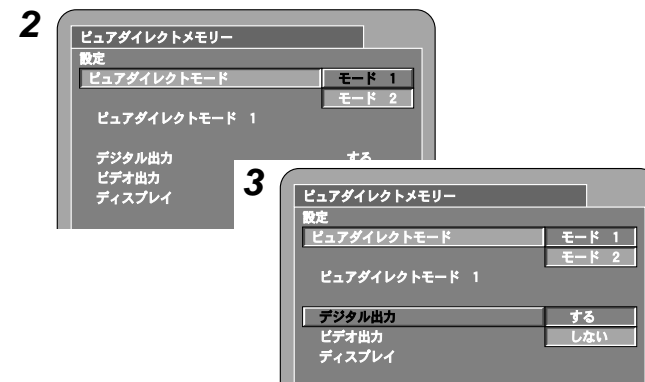
### 5 ［PURE DIRECT SELECT］でモードを選ぶ。

● ディスプレイに表示します。

**NORMAL：**
すべての信号を出力します。

**MODE1：**
“ モード1 ”に設定した内容で動作します。

**MODE2：**
“ モード2 ”に設定した内容で動作します。

**ALL OFF：**
アナログ音声信号のみを出力します。

● HDMI接続時に“ ビデオ出力 ”を“ しない ”に設定したり、“ ALL OFF ”モードを選ぶとHDMIからの音声も出力しません。

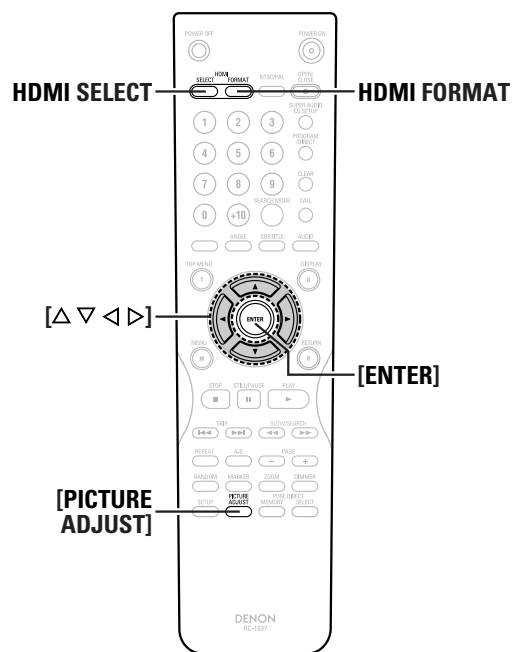
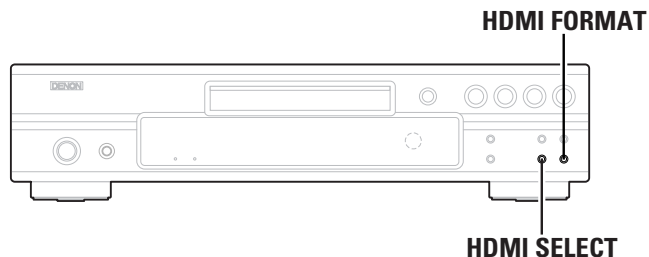
HDMI FORMAT

HDMI SELECT

HDMI SELECT HDMI FORMAT

[△▽◁▷]

[ENTER]

[PICTURE ADJUST]

**【操作説明のボタン名について】**

| | |
|---|---|
| <　　>： | 本体のボタン |
| [　　]： | リモコンのボタン |
| **ボタン名のみ**： | 本体とリモコンのボタン |

# HDMI端子から出力する映像の設定のしかた

## 信号形式を変える

### HDMI SELECT を押して設定モードを選ぶ。

● ディスプレイに表示します。

**HDMI OFF（お買い上げ時）：**
HDMI端子から映像信号と音声信号を出力しません。

**YCbCr：**
HDMI端子から色差形式の映像信号と音声信号を出力します。

**RGB：**
HDMI端子からRGB形式の映像信号と音声信号を出力します。

**PC RES.：**
HDMI端子からパソコン用解像度のRGB形式で映像信号と音声信号を出力します。
再生するディスクがNTSC/PAL方式に係わらず、60Hzで出力します。
※ HDMI端子に接続したテレビやモニターなどが、パソコン用解像度に対応していない場合は“YCbCr”または“RGB”に設定してください。

● HDMI端子に接続したテレビやモニターなどが、パソコン用解像度に対応していても映像が乱れることがあります。
● HDMI端子から映像出力する場合、色差映像端子および、D2映像端子からの映像出力はインターレースになります。



# 解像度を変える

### ❑ 信号形式を“YCbCr”または“RGB”に設定した場合

### HDMI FORMAT を押してモードを選ぶ。

● ディスプレイに表示します。

**AUTO：**
HDMI端子に接続したHDMI機器の性能を自動で検出し、そのパネル画素数または入力できる最大の解像度に合わせて出力します。
※ 出力する解像度の設定は、“デジタルインターフェース設定”の“HDMI AUTO FORMAT”（☞ 22ページ）で設定します。

**480/576i、480/576P（お買い上げ時）、720P、1080i、1080P：**
HDMI端子からの映像を選択した解像度に変換して出力します。
※“480/576i”を選択したときの映像出力がNTSC方式の場合は480i、PAL方式の場合は576iで出力します。
※“480/576P”を選択したときの映像出力がNTSC方式の場合は480P、PAL方式の場合は576Pで出力します。

● 解像度の設定は“YCbCr”と“RGB”で同じになります。

### ❑ 信号形式を“PC RES.”に設定した場合

### HDMI FORMAT を押してモードを選ぶ。

● HDMI端子から出力される映像解像度を選びます。
● ディスプレイに表示します。

**VGA（お買い上げ時）：**
640×480（60Hz）の解像度に変換します。

**XGA：**
1024×768（60Hz）の解像度に変換します。

**WXGA：**
1280×768（60Hz）の解像度に変換します。

**SXGA：**
1280×1024（60Hz）の解像度に変換します。

# 画質調整のしかた

## 画質設定のメモリーをする

お好みで調整した画質設定をメモリー1～5にそれぞれ記憶させます。

**1** **［PICTURE ADJUST］を押す。**

**2** **［◁　▷］で“M1”～“M5”のいずれかを選び、［ENTER］を押す。**

**3** **［◁　▷］で“画質調整1”～“画質調整4”のいずれかを選ぶ。**

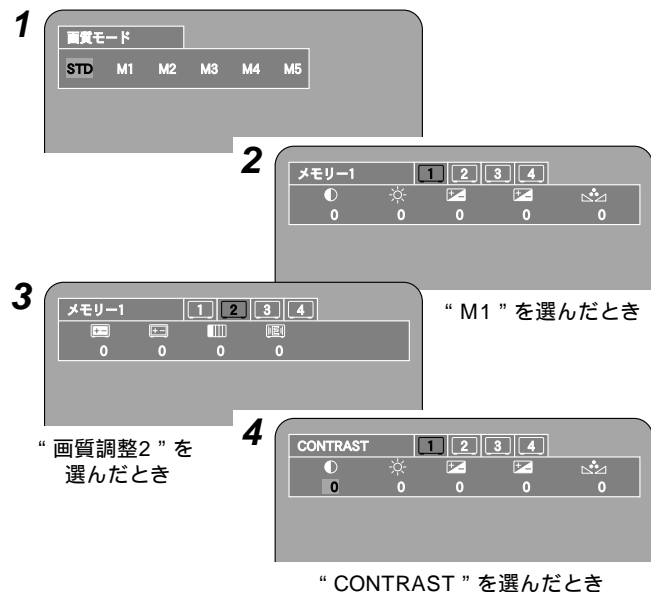
※“画質調整4”の調整のしかたは“ガンマ補正をする”（☞34ページ）をご覧ください。

**4** **さらに［▽］を押し、［◁ ▷］で調整項目を選び、［△ ▽］で調整して［ENTER］を押す。**

● それぞれのメモリーに記憶します。

“M1”を選んだとき

“画質調整2”を選んだとき

“CONTRAST”を選んだとき

### ❏ 画質調整を終了するとき：

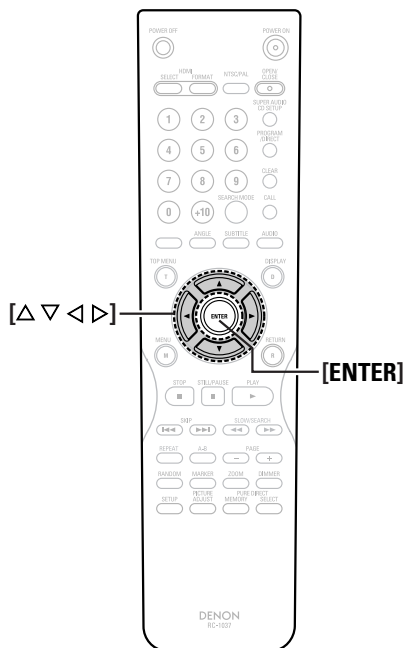
もう一度［PICTURE ADJUST］を押す。

### ❏ 画質設定メモリー一覧表

| 項　目 | | 内　容 |
|---|---|---|
| STD | STANDARD | お買い上げ時（初期値） |
| M1 | メモリー1 | “画質調整1”～“画質調整4”の各画質設定を記憶できます。 |
| M2 | メモリー2 | |
| M3 | メモリー3 | |
| M4 | メモリー4 | |
| M5 | メモリー5 | |

### ❏ 画質調整モード一覧表

| 項　目 | | 内　容 | 調整範囲（初期値） |
|---|---|---|---|
| 画質調整1 | CONTRAST（コントラスト） | 映像の明暗の差を調整します。 | −6 ～ +6　(0) |
| | BRIGHTNESS（ブライトネス） | 映像の明るさを調整します。 | 0 ～ +12　(0) |
| | SHARPNESS(MID)（シャープネス（中域）） | 中域の周波数に対して、映像の鮮明度を調整します。（∗1） | −6 ～ +6　(0) |
| | SHARPNESS(HI)（シャープネス（高域）） | 高域の周波数に対して、映像の鮮明度を調整します。（∗2） | −6 ～ +6　(0) |
| | HUE（色合い） | 緑色と赤色のバランスを調整します。（∗3） | −6 ～ +6　(0) |
| 画質調整2 | WHITE LEVEL（白レベル） | 白色のレベルを調整します。 | −5 ～ +5　(0) |
| | BLACK LEVEL（黒レベル） | 黒色のレベルを調整します。（∗2） | −5 ～ +5　(0) |
| | CHROMA LEVEL（クロマレベル） | 色の濃さを調整します。 | −6 ～ +6　(0) |
| | ENHANCER（エンハンサー） | 映像の輪郭を強調します。（∗2） | 0 ～ +11　(0) |
| 画質調整3 | DNR（デジタルノイズ除去） | 映像全体のノイズを軽減します。 | 0 ～ +3　(0) |
| | MPEG NR（MPEGノイズ除去） | 文字などの輪郭のノイズを軽減します。 | ON/OFF　(OFF) |
| | SETUP LEVEL（セットアップレベル） | 黒い色の浮きを補正します。 | 0 IRE/7.5 IRE (0) |
| | H.POSITION（水平方向） | 左右の位置を調整します。（∗2） | −7 ～ +7　(0) |
| | V.POSITION（垂直方向） | 上下の位置を調整します。（∗2） | −7 ～ +7　(0) |
| 画質調整4 | G0～G9（ガンマ補正） | 映像の明るさを詳細に調整します。 | 16 ～ 235 (G0=24/G1=32/G2=48/G3=64/G4=80/G5=96/G6=128/G7=160/G8=192/G9=224) |

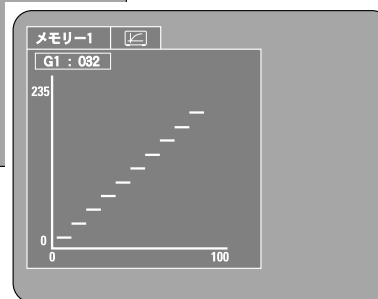
∗1：HDMI出力には効果がありません。
∗2：プログレッシブ出力とHDMI出力に対して効果があります。
∗3：色差映像出力およびD2映像出力のインターレース出力には効果がありません。

**【操作説明のボタン名について】**
＜　　＞：　本体のボタン
［　　］：　リモコンのボタン
**ボタン名のみ**：本体とリモコンのボタン

## ガンマ補正をする

数値表またはグラフで調整します。

**1** **【数値表で調整する場合】**
**“画質調整4”で［▽］を押す。**
**【グラフで調整する場合】**
**“画質調整4”で［ENTER］を押す。**

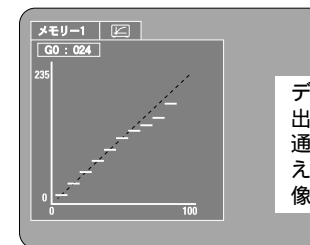
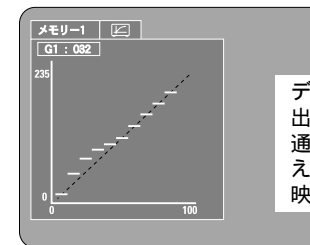
**2** **［◁　▷］で調整するポイントを選び、［△　▽］で明るさのレベルを調整して［ENTER］を押す。**
- それぞれのメモリーに記憶します。

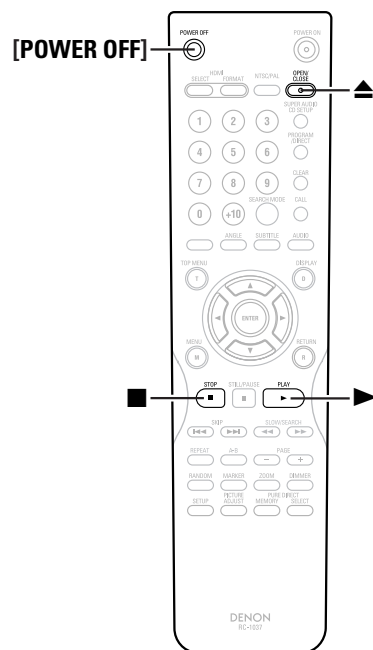
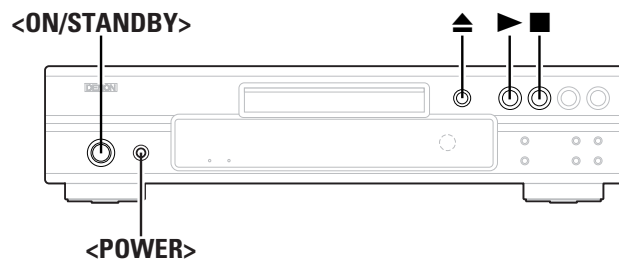
※ 選択したポイントのレベルは、その左右にあるポイントの数値を越えて設定することができません。
（例えば、G3が64でG5が96の場合、G4は64～96の範囲を越えて設定できません。）

【数値表】　【グラフ】

### ❑ 基準レベルに戻すとき：

**［CLEAR］**を押す。



【参考】
横軸：ディスクに記録されている映像の輝度レベル
縦軸：本機から出力するときの映像の輝度レベル

ディスク側の明るいポイントを出力側の『暗』に調整すると、通常では明るい部分の細部が見えにくくなるものが見やすい映像になります。

ディスク側の暗いポイントを出力側の『明』に調整すると、通常では暗い部分の細部が見えにくくなるものが見やすい映像になります。

# 基本操作のしかた

**【操作説明のボタン名について】**
＜　　＞：本体のボタン
［　　］：リモコンのボタン
**ボタン名のみ**：本体とリモコンのボタン

## 電源を入れる

### ＜POWER＞ を押す。

● ディスクが入っていないときは、“ 0h00m00s ” を表示します。

| | |
|---|---|
| ▁ **ON：** | 電源表示が緑色に点灯します。 |
| ■ **OFF：** | 電源表示が消灯します。 |

※ **＜ON/STANDBY＞** または **［POWER OFF］** でスタンバイ状態にすると電源表示は赤色に点灯します。

### ❑ 電源を切るとき：

もう一度 **＜POWER＞** を押す。

● スタンバイ状態から電源をOFFして、再度電源を入れると電源はスタンバイ状態になります。

**ご注意**

スタンバイ時にすべての表示が消灯していても、微量な電力を消費しています。

## ディスクトレイを開く

### ⏏ を押す。

※ ディスクの入れかたは7ページを参照してください。

### ❑ ディスクトレイを閉じるとき：

もう一度 ⏏ を押す。

## ディスクを再生する

### ▶ を押す。

● “ ▶ ” 表示が点灯し、再生を始めます。

● 詳しくはそれぞれのディスクの説明をご覧ください。
ソフト制作者の意図により、本書の説明どおりに動作しないディスクがあります。

## 再生を停止する

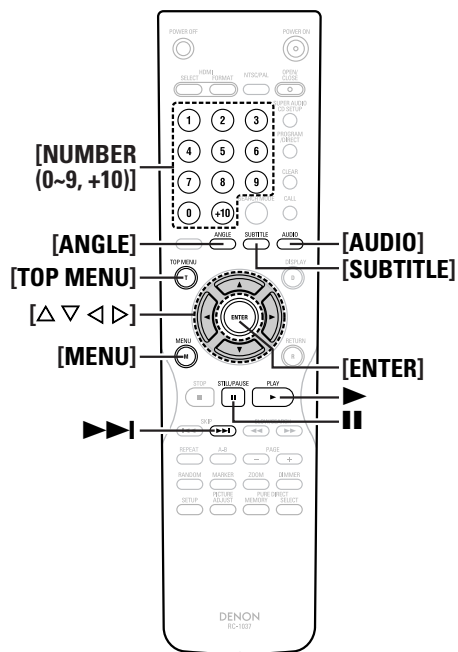
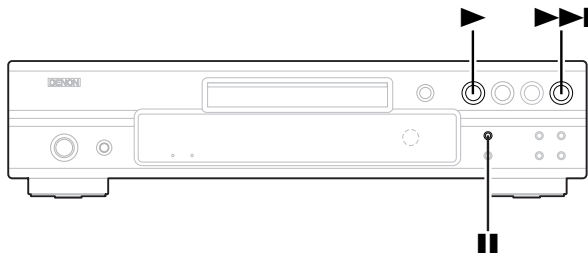
### ■ を押す。

● 再生が止まり、壁紙を表示します。

※ 初期設定で “ 特殊設定 ” の “ オートパワーモード ” を “ 入 ”（☞ 30ページ）に設定している場合、停止状態で30分経過すると自動的に本体の電源が切れ、スタンバイ状態になります。

### ❑ 続き再生メモリー機能について

再生中に ■ を押すと止めた位置を記憶します（ディスプレイの “ ▶ ” 表示が点滅）。
その後 ▶ を押すと、止めたところから再生を始めます。
ディスクトレイを開けるか、もう一度 ■ を押すと続き再生メモリー機能は解除されます。

● 続き再生メモリー機能は、再生中にディスプレイに経過時間が表示されるディスクで働きます。
● メニューの再生中は続き再生メモリー機能は働きません。

【操作説明のボタン名について】

| | |
|---|---|
| ＜　＞： | 本体のボタン |
| ［　］： | リモコンのボタン |
| **ボタン名のみ**： | 本体とリモコンのボタン |

## 再生を一時停止する

**II を押す。**

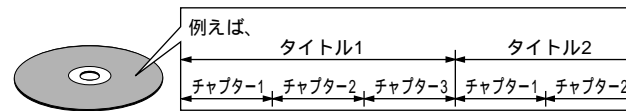
- “ II ” 表示が点灯し、一時停止します。

### ❑ 再び再生するとき：

▶ を押す。

## DVDビデオについて

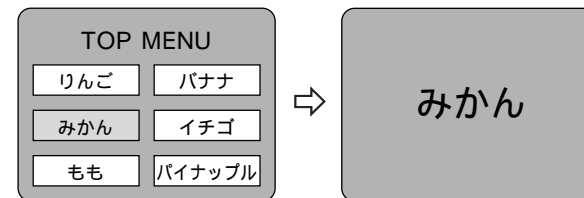
**タイトル、チャプター：**

DVDビデオは、いくつかの大きな区切り（タイトル）と小さな区切り（チャプター）に分けられています。それぞれの区切りには番号が割り当てられ、これらの番号をタイトル番号、チャプター番号と呼びます。

## DVDビデオを再生する

DVDではメニュー画面を表示するディスクがあります。
見たい項目を選んでから再生を始めてください。

**1** ［△ ▽ ◁ ▷］で見たい項目を選ぶ。

**2** ［ENTER］を押す。

- 再生を始めます。



【例】“ みかん ” を選択したとき

- DVD再生中は［TOP MENU］または［MENU］を押すとメニュー画面に戻すことができます。
- メニューの続きがある場合は ▶▶I を押すと続きのメニューを表示します。

## トップメニュー/DVDメニューを使う

複数のタイトルが入っているDVDは、トップメニューからお好みのタイトルを選択し再生することができます。
DVDによっては、“ DVDメニュー ” と呼ばれる特別なメニューが用意されているものもあります。

**1 再生中に［TOP MENU］または［MENU］を押す。**

**2 ［△ ▽ ◁ ▷］または［NUMBER (0 ~ 9, +10)］でお好みのタイトルを選ぶ。**
- ［NUMBER (0 ~ 9, +10)］で選んだときは操作 *3* は不要です。

**3 ［ENTER］または ▶ を押す。**
- 再生を始めます。

【例】トップメニュー

【例】DVDメニュー

## 音声言語を切り替える（マルチ音声機能）

複数の音声言語が記録されているDVDの再生中に、音声言語を切り替えることができます。

**1 再生中に［AUDIO］を押す。**
- 現在再生中の音声番号を表示します。

**2 ［△ ▽］でお好みの言語を選ぶ。**

※［AUDIO］を押すと表示が消えます。

## 字幕言語を切り替える（マルチ字幕機能）

複数の字幕言語が記録されているDVDの再生中に、字幕言語を切り替えることができます。

**1 再生中に［SUBTITLE］を押す。**
- 現在再生中の字幕番号を表示します。

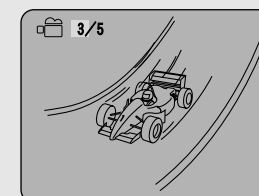
**2 ［△ ▽］でお好みの言語を選ぶ。**

※［SUBTITLE］を押すと表示が消えます。



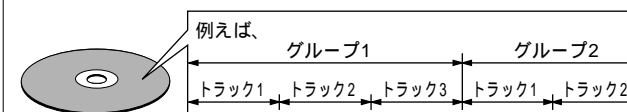
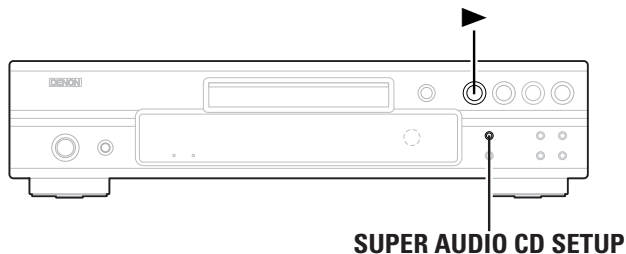
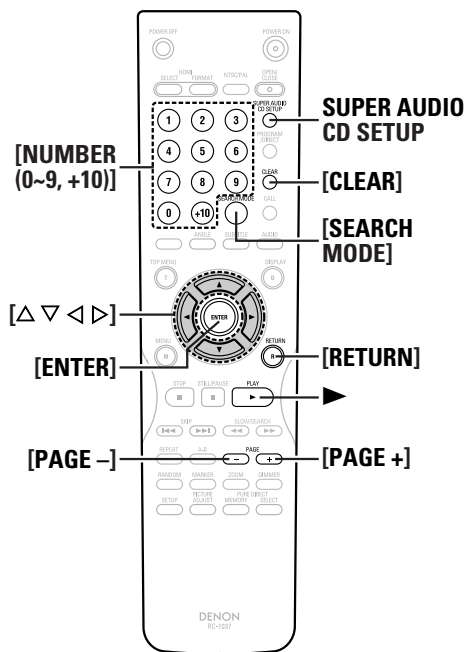
## アングル（角度）を切り替える（マルチアングル機能）

複数のアングルが記録されているDVDは、再生中にアングルを切り替えることができます。

**1 再生中に［ANGLE］を押す。**
- 現在再生中のアングル番号を表示します。

**2 ［△ ▽］でお好みのアングルを選ぶ。**

※［ANGLE］を押すと表示が消えます。

## DVDオーディオについて

**グループ、トラック：**
DVDオーディオは、いくつかの大きな区切り（グループ）と小さな区切り（トラック）に分けられています。それぞれの区切りには番号が割り当てられ、これらの番号をグループ番号、トラック番号と呼びます。

【操作説明のボタン名について】
< >： 本体のボタン
[ ]： リモコンのボタン
**ボタン名のみ**：本体とリモコンのボタン

## グループ/トラックを切り替える

**1 停止中または再生中に［SEARCH MODE］を押してサーチモードを選ぶ。**
- ボタンを押すたびに、画面左上に下記のようなモードが切り替わります。

グループ 1/3 ←→ トラック 3/10

**2 ［NUMBER (0 ~ 9, +10)］で再生したいグループ番号またはトラック番号を入力する。**
- 指定したグループまたはトラックから再生を始めます。

- ［SEARCH MODE］押して決めたサーチモードは、電源をOFFにするまで記憶しています。

## ボーナスグループを再生する

DVDオーディオには、パスワードを入力しないと再生できない特殊なグループ（ボーナスグループ）があるものがあります。

**1 停止中に［SEARCH MODE］で“グループ”を選ぶ。**
- “GROUP”表示を点灯します。

**2 ［NUMBER (0 ~ 9, +10)］でボーナスグループの番号を入力する。**

**3 ［NUMBER (0 ~ 9)］でパスワード（4桁）を入力し、［ENTER］を押す。**
- 指定したグループの1曲目から再生を始めます。

※ パスワードはメニュー画面で入力する場合もありますので、画面の指示に従ってください。

### ❑ パスワードを間違って入力したとき：
［CLEAR］を押す。

## 静止画を選択する

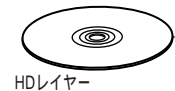
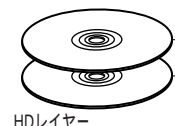
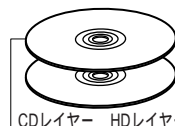
静止画付きのDVDオーディオでは、お好みの画像を選ぶことができます。

**再生中に［PAGE +］または［PAGE –］を押す。**

※ ソフト制作者の意図により、画像を選ぶことができないものがあります。

## スーパーオーディオCDについて

**スーパーオーディオCDディスクタイプ**

- **シングルレイヤー・ディスク：** HDレイヤーのみで構成される一層のスーパーオーディオCDです。
  （HDレイヤー）
- **デュアルレイヤー・ディスク：** HDレイヤーが二層構造のスーパーオーディオCDであり、高音質での長時間再生が可能です。
  （HDレイヤー）
- **ハイブリッド・ディスク：** HDレイヤーとCDレイヤーの二層構造のスーパーオーディオCDです。CDレイヤーの内容は通常のCDプレーヤーで再生することができます。
  （CDレイヤー　HDレイヤー）

※ HDレイヤーについて
すべてのスーパーオーディオCDは、スーパーオーディオCD用の高密度信号層のHD（ハイデンシティ）レイヤーを持ち、そのレイヤーの中にはステレオチャンネルエリアとマルチチャンネルエリアの一方あるいは両方を持つことができます。

## スーパーオーディオCD最優先再生レイヤーを設定する

ディスク装着後に再生するレイヤーを設定します。

### SUPER AUDIO CD SETUP でレイヤーを選ぶ。

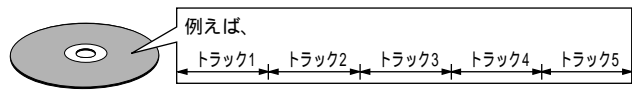
**MULTI（マルチ）(お買い上げ時)：**
HDレイヤーのマルチチャンネルのエリアを再生します。

**STEREO（ステレオ）：**
HDレイヤーの2チャンネルのエリアを再生します。

**CD：**
CDレイヤーを再生します。

- 選んだエリア/レイヤーがないディスクを再生する場合は、MULTI、STEREO、CDの優先順に再生します。

## ビデオCD/音楽CDについて

**トラック**（ビデオCD/音楽CD）：
ビデオCDや音楽CDは、いくつかの区切り（トラック）に分けられています。この区切りには番号が割り当てられ、この番号をトラック番号と呼びます。

**プレイバックコントロール**（ビデオCD）：
『プレイバックコントロール付き』などとディスクやジャケットに書かれているビデオCDは、テレビに表示されるメニュー画面を見ながら見たい場面や情報を選ぶことができます。

## プレイバックコントロールを再生する

プレイバックコントロール付きビデオCDの多くのものは、メニュー画面を表示します。見たい項目を選んでから再生を始めてください。

### [NUMBER (0 ~ 9, +10)] で見たい項目を選ぶ。

- 再生を始めます。

**❏ メニュー画面に戻すとき：**
再生中に［RETURN］を押す。

## MP3/WMA形式のディスクについて

**❏ MP3のCD、CD-R/CD-RWを聴くには**

インターネットのホームページ上には、MP3形式の音楽ファイルをダウンロードできる様々な音楽配信サイトがあります。そのサイトの指示に従って音楽をダウンロードし、CD-R/CD-RWに書き込めば、本機で再生することができます。

**❏ MP3/WMAのCD-R/CD-RWを聴くには**

本機はMP3形式とWMA（Windows Media® Audio）＊形式の音声圧縮フォーマットで記録されたCD-R/CD-RWの音楽ファイルの再生ができます。

Windows Media、Windowsロゴは米国、その他の国で、米国Microsoft Corporationの登録商標または商標になっています。

＊WMA（Windows Media® Audio）：
米国マイクロソフト社のオーディオコーデックです。

### 1 MP3やWMA形式の音楽ファイルを書き込んだディスクをセットする。

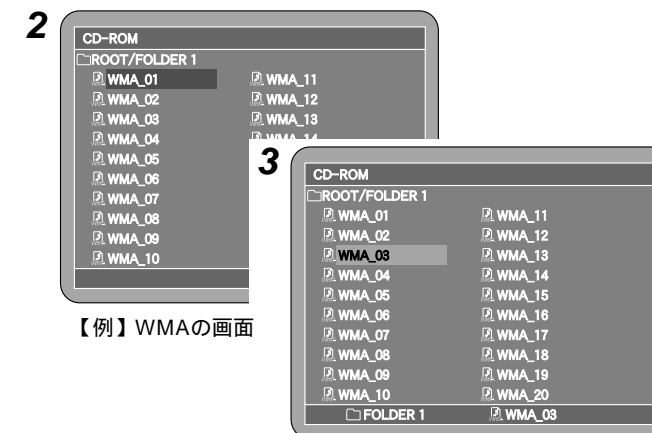
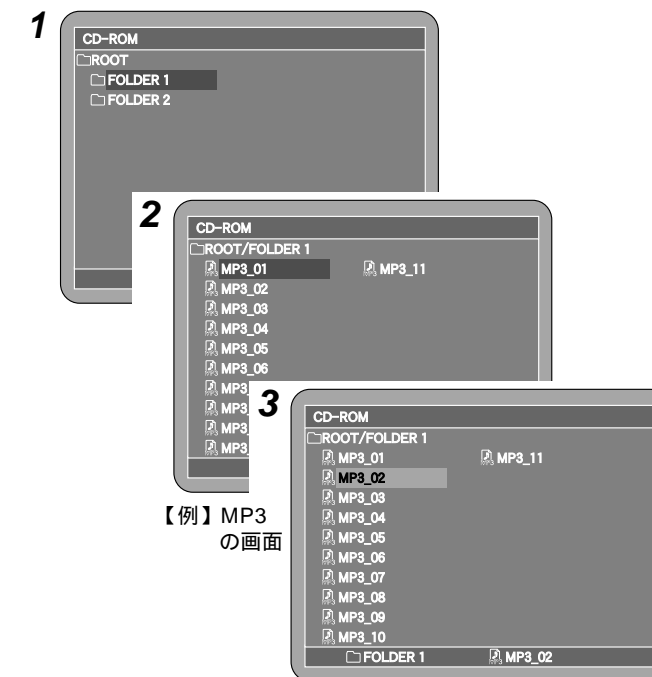
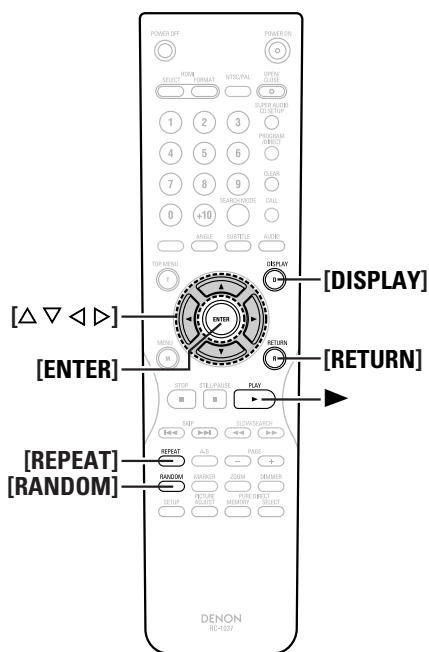
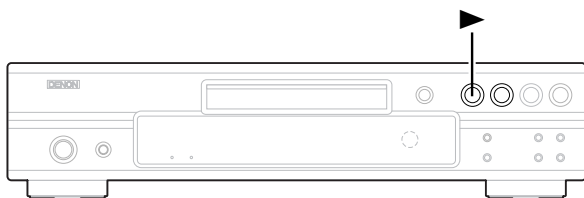
### 2 [△ ▽ ◁ ▷] で再生したいフォルダーを選び、[ENTER] を押す。

### 3 [△ ▽ ◁ ▷] で再生したいファイルを選び、[ENTER] または ▶ を押す。

- 再生を始めます。

【例】MP3の画面

【例】WMAの画面

《基本操作のしかた》

**【操作説明のボタン名について】**
< >： 本体のボタン
[ ]： リモコンのボタン
**ボタン名のみ**：本体とリモコンのボタン

### ❑ 再生したいフォルダーを変えるとき：
**[RETURN]** を押し、もう一度フォルダーを選ぶ。

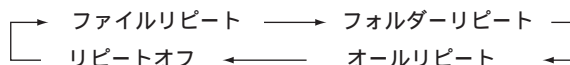
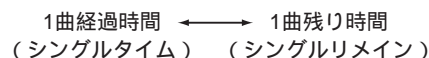
### ❑ 再生したいファイルを変えるとき：
[△ ▽ ◁ ▷] でファイルを選び、**[ENTER]** を押す。

### ❑ ランダム再生するとき：
停止中に **[RANDOM]** を押して、**[ENTER]** または ▶ を押す。

### ❑ リピート再生するとき：
**[REPEAT]** を押す。

**ファイルリピート** → **フォルダーリピート** → **オールリピート** → **リピートオフ** →（ファイルリピートへ）

### ❑ 時間表示を切り替えるとき：
再生中に **[DISPLAY]** を押す。

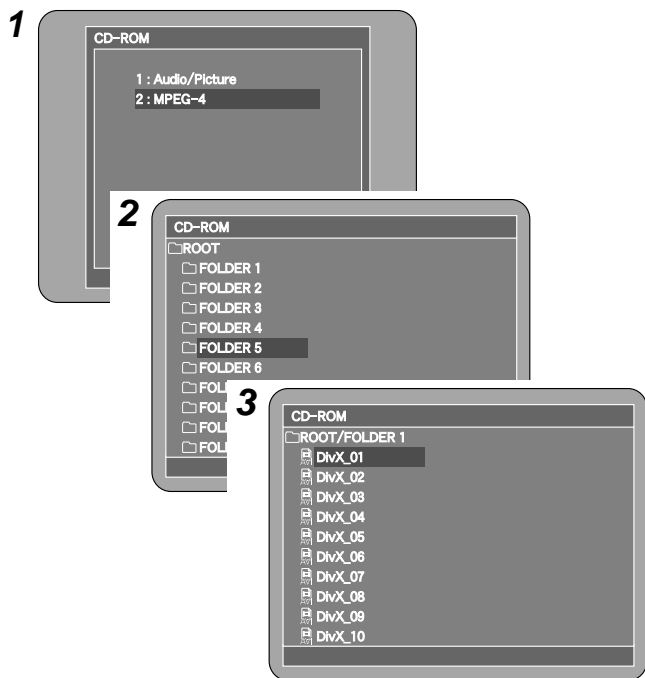
**1曲経過時間（シングルタイム）** ←→ **1曲残り時間（シングルリメイン）**

- MP3/WMAファイルをCD-R/CD-RWに書き込む場合、ライティングソフトのフォーマットは『ISO9660レベル1』でおこなってください。他のフォーマットで記録された場合、正常に再生できないことがあります。ライティングソフトによっては『ISO9660』フォーマットで記録できないものもあります。詳しくは、ご使用のライティングソフトの説明書をご覧ください。
- MP3の規格は『MPEG-1 Audio Layer-3』（サンプリング周波数fsは32/44.1/48kHz）対応しています。
  それ以外の『MPEG-2 Audio Layer-3』、『MPEG-2.5 Audio Layer-3』、『MP1』、『MP2』、『MP3 PRO』などには対応していません。
- WMAのサンプリング周波数fsは32/44.1/48kHzで記録されたファイルに対応しています。
- ビットレートはMP3は32〜320kbps、WMAは64k〜160kbpsで記録されたファイルに対応しています。
- MP3ファイルには必ず拡張子『.MP3』または『.mp3』を付けてください。
  WMAファイルには必ず拡張子『.WMA』または『.wma』を付けてください。
- 本機で再生できるフォルダー数は255、ファイル数は1000です。
- MP3/WMAファイルを再生したときのデジタル出力は、PCMに変換して出力します。
- 本機はフォルダーネームとファイルネームをタイトルのように表示することが可能です。英数字、アルファベット、アンダースコアを11文字まで表示できます。表示できない文字はアスタリスクで表示されます。
- 著作権保護されたファイルは再生できません。
  また、書き込みソフトや状態により、再生できない場合や正しく表示されない場合があります。
- MP3/WMAファイルの再生順序は、CD-R/CD-RW書き込み時にライティングソフトがフォルダー位置やファイル位置を並び替える可能性があるため、任意の再生順序とは異なる場合があります。
- ID3-Tagには対応していません。
- パケットライトソフトには対応していません。
- プレイリストには対応していません。

## DivX®形式のディスクについて

DivX®*形式で収録されたCDおよびDVDのデジタル映像を再生することができます。
＊DivX®：
DivX Networks Inc.のDivX®ビデオコーディング方式によるデジタル映像圧縮技術です。

**1** **DivX®形式のファイルを書き込んだディスクをセットする。**

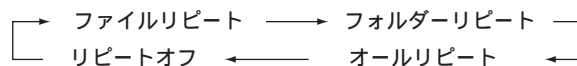
**2** **［△ ▽ ◁ ▷］で再生したいフォルダーを選び、［ENTER］を押す。**

**3** **［△ ▽ ◁ ▷］で再生したいファイルを選び、［ENTER］または ▶ を押す。**
- 再生を始めます。

### ❑ 再生したいフォルダーを変えるとき：
停止中またはレジューム中に［RETURN］を押し、もう一度フォルダーを選ぶ。

### ❑ 再生したいファイルを変えるとき：
停止中またはレジューム中に［△ ▽ ◁ ▷］でもう一度ファイルを選ぶ。

### ❑ ランダム再生するとき：
停止中に［RANDOM］を押して、▶ を押す。

### ❑ リピート再生するとき：
［REPEAT］を押す。

ファイルリピート → フォルダーリピート → オールリピート → リピートオフ → ファイルリピート

### ❑ 時間表示を切り替えるとき：
再生中に［DISPLAY］を押す。

1曲経過時間（シングルタイム） ↔ 1曲残り時間（シングルリメイン）

- 本機で再生できるフォルダー数は255、ファイル数は1000です。
- 書き込みソフトや状態により、再生できない場合や正しく表示されない場合があります。
- DivX®の音声サンプリング周波数fsは、8〜48kHzで収録されたファイルに対応しています。
- 動き補償技術（GMC）およびPCM　audioには対応しておりません。

《基本操作のしかた》

## 静止画ファイルが収録されたディスクについて

CD-R/CD-RWに記録したJPEG形式の静止画ファイル、ピクチャーCDおよびフジカラーCDをスライドショーのように再生します。

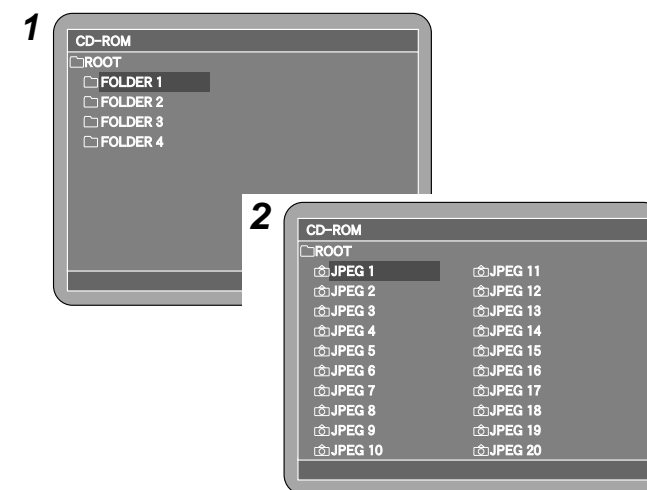
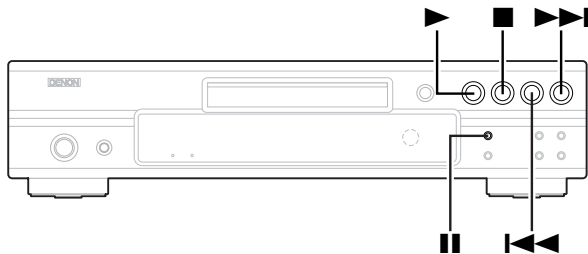
## JPEG形式のディスクを再生する

**1** **JPEG形式の静止画ファイルを書き込んだディスクをセットする。**

**2** **［△ ▽ ◁ ▷］で再生したいフォルダーを選び、［ENTER］を押す。**

**3** **［△ ▽ ◁ ▷］で再生したいファイルを選び、［ENTER］または ▶ を押す。**
- 再生を始めます。

【操作説明のボタン名について】

| | |
|---|---|
| < > | 本体のボタン |
| [ ] | リモコンのボタン |
| **ボタン名のみ** | 本体とリモコンのボタン |

## ピクチャーCD/フジカラーCDを再生する

本機はコダック（株）が扱っているピクチャーCDおよび富士写真フィルム（株）が扱っているフジカラーCDを再生することができます。これらのCDを再生することで、写真の画像をテレビで楽しむことができます。

※ ピクチャーCD/フジカラーCDは従来の銀塩フィルムカメラで撮った写真をデジタルデータに変換してCDに書き込むサービスです。
ピクチャーCD/フジカラーCDに関する詳細は、現像サービスを取り扱っている販売店にお問い合わせください。

**静止画像が収録されたディスクをセットする。**
ディスクを装着すると、自動的に再生を始めます。
■ を押すまで繰り返し再生をおこないます。

### ❑ 再生したい静止画を選ぶとき：

再生中に ■ または［MENU］で、静止画を一度に表示させてから［△ ▽ ◁ ▷］で選び、［ENTER］を押す。

### ❑ 再生したい静止画の頭出しをするとき：

再生中に I◀◀ または ▶▶I を押す。
I◀◀：1つ前の静止画を表示します。
▶▶I：次の静止画を表示します。

### ❑ 再生を一時停止するとき：

II を押す。
再度、再生するときは ▶ を押す。

### ❑ 静止画の向きを変えるとき：

再生中または一時停止中に［△ ▽ ◁ ▷］を押す。
△▽：静止画を上下反転します。
◁ ：静止画を反時計方向に90 ° 回転します。
▷ ：静止画を時計方向に90 ° 回転します。

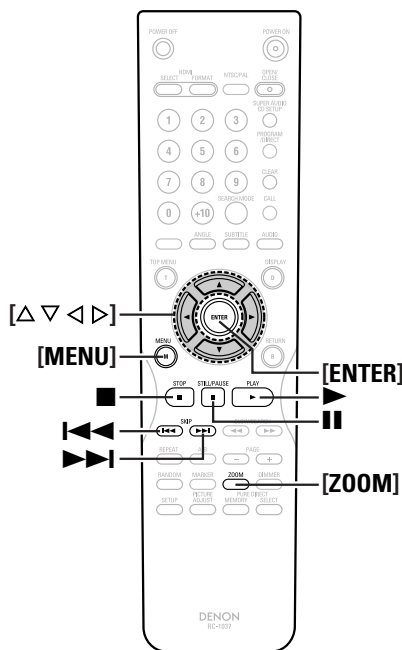
### ❑ 画像をズーム再生するとき：

一時停止中に［ZOOM］を押す。（テレビ画面に“ ZOOM ”を表示）
- 押すたびに倍率が変わります。
150% → 200% → 50% → 100% → 150%

※ 拡大したときは［ENTER］を押し（テレビ画面に“ MOVE ”を表示）、［△ ▽ ◁ ▷］で、ズーム画面を移動できます。
※ 連続再生中（スライドショー）で画像をズーム再生することはできません。

- 本機はJPEG形式で収録された画像データに対応していますが、すべてのJPEG形式の画像データの再生を保証するものではありません。
- ファイルサイズが30Mバイトまで表示できます。
- JPEGファイルをCD-R/CD-RWに書き込む場合、ライティングソフトのフォーマットは『ISO9660レベル1』でおこなってください。
- JPEGファイルには必ず拡張子『.JPG』または『.JPE』を付けてください。（マッキントッシュのパソコンで書き込まれたJPEGファイルは再生できません。）

**ご注意**

- あなたが録音したものは個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- 音楽CD（CD-DA形式）、MP3、WMA、DivX®および JPEG以外のファイルが書き込まれたCD-R/CD-RWは再生しないでください。ファイルの種類によっては誤動作および故障の原因になります。

## MP3/WMA/JPEG/DivX®のリピートおよびランダムについて

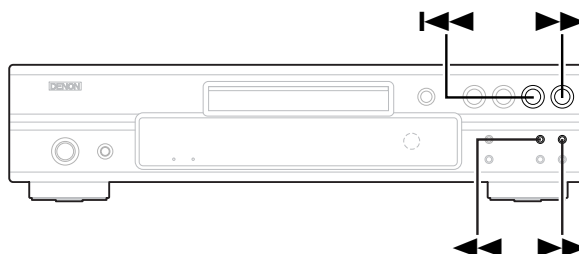
**ファイルリピート：**
選択したファイルを繰り返し再生します。

**フォルダーリピート：**
選択したファイルから再生を始め、そのフォルダー内のすべてのファイルを繰り返し再生します。

**オールリピート：**
選択したファイルから再生を始め、ディスク内のすべてのファイルを繰り返し再生します。

**ランダム：**
選択したファイルから再生を始め、そのフォルダー内のすべてのファイルを順不同に再生します。

# 便利な操作のしかた

**【操作説明のボタン名について】**
＜　　＞：　本体のボタン
［　　］：　リモコンのボタン
**ボタン名のみ**：本体とリモコンのボタン

## 早戻し/早送りをする

**再生中に ◀◀ または ▶▶ を押す。**
● 押すたびに早戻し/早送りが速くなり、5段階可変できます。

**❑通常の再生に戻すとき：**
▶ を押す。

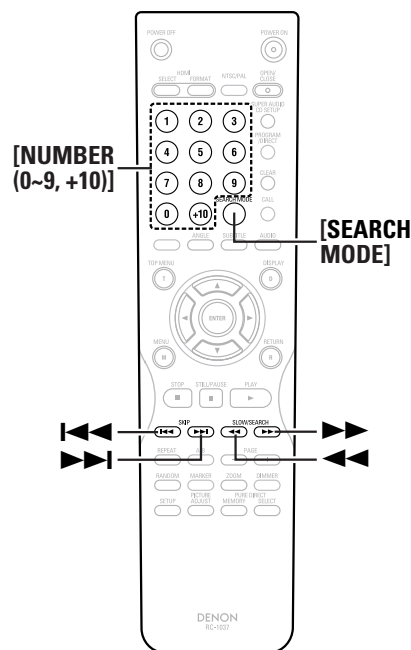
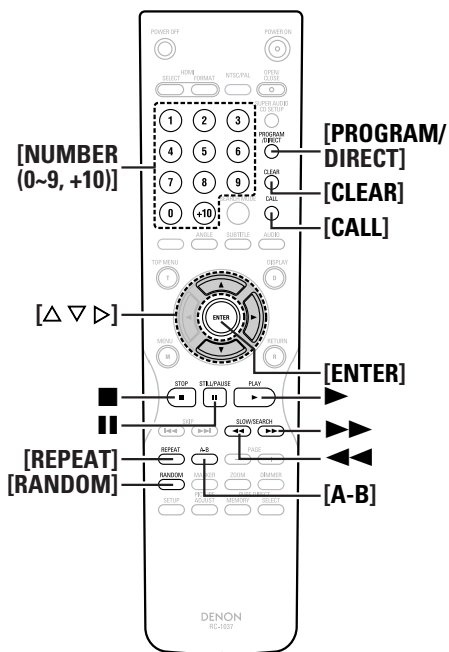
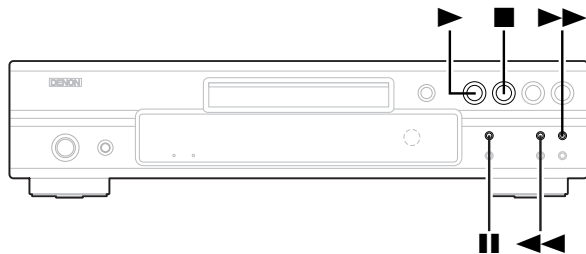
## 頭出しをする

**再生中に I◀◀ または ▶▶I を押す。**
● 押した回数だけチャプター/トラックを飛び越します。
● 戻し方向に1回押すと再生中のチャプター/トラックの先頭に戻ります。

## NUMBER ボタンで頭出しをする

**1 再生中に［SEARCH MODE］でモードを選ぶ（DVDビデオ/DVDオーディオ）。**
● DVDビデオの場合　　：TITLE ←→ CHAP
● DVDオーディオの場合　：GROUP ←→ TRACK

**2 ［NUMBER (0 ~ 9, +10)］で再生したい番号を入力する。**

● ［SEARCH MODE］を押して選んだサーチモードは、電源をOFFにするまで記憶しています。

[NUMBER (0~9, +10)]
[PROGRAM/DIRECT]
[CLEAR]
[CALL]
[△▽▷]
[ENTER]
■
►
❚❚
►►
[REPEAT]
◄◄
[RANDOM]
[A-B]

**【操作説明のボタン名について】**

< >： 本体のボタン
[ ]： リモコンのボタン
**ボタン名のみ**：本体とリモコンのボタン

## コマ送り再生をする（DVDビデオ/ビデオCDのみ）

### 一時停止中に ❚❚ を押す。

● 押すたびに、1コマずつ再生します。

### ❑通常の再生に戻すとき：

► を押す。

● DVDオーディオでは動画部のみコマ送りができます。

## スロー再生をする

### 一時停止中に ◄◄ または ►► を押す。

● 押すたびにスロー再生が速くなり、5段階可変できます。

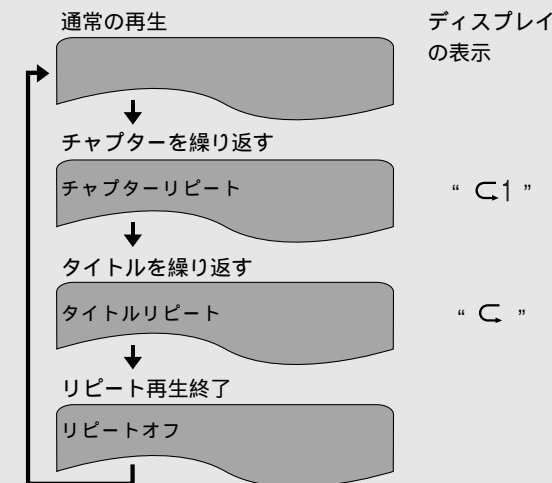
### ❑通常の再生に戻すとき：

► を押す。

● DVDオーディオでは動画部のみスロー再生ができます。
● ビデオCDは逆スロー再生はできません。

## リピート再生をする

### 再生中に［REPEAT］を押す。

● 押すたびにリピートモードが切り替わり、それぞれのリピート再生を始めます。

## 指定した2点間を繰り返し再生する （A-Bリピート再生）

**1 再生中に［A-B］を押す。**
- 開始場所Aを指定します。
- 本機のディスプレイに“ ⊂ A- ”表示を点灯します。

**2 もう一度［A-B］を押す。**
- 終了場所Bを指定し、A-B間の繰り返し再生を始めます。
- 本機のディスプレイに“ ⊂ A-B ”表示を点灯します。

**❑ 通常の再生に戻すとき：**
テレビ画面に“ リピートオフ ”を表示するまで［A-B］を押す。

- リピート/A-Bリピート再生ができないDVDもあります。
- 再生中に本機のディスプレイに再生経過時間が表示されないディスクは、リピート/A-Bリピート再生ができないことがあります。
- A-Bリピート再生中は、A-B間の前後の字幕を表示しないことがあります。

## プログラム再生をする

DVDオーディオ、ビデオCD、音楽CDおよびスーパーオーディオCDは、トラック番号を予約して好きな順に再生できます。**DVDビデオではプログラム再生はできません。**

**1 停止中に［PROGRAM/DIRECT］を押す。**
- 本機ディスプレイに“ PROG ”表示を点灯します。

**2 ［NUMBER (0～9, +10)］で予約したい番号を押す。**
- 最大20曲までプログラムできます。

※ DVDオーディオの場合は、“ グループ番号 ”→“ トラック番号 ”を押し、［△ ▽］で選択して［ENTER］を押します。

**3 ▶ を押す。**
- 予約した順に再生を始めます。

**❑ プログラムした内容を確認するとき：**
■ を2回押して、再生を停止する。
- プログラム画面を表示します。
  また、停止中に［CALL］を押すと、ディスプレイにプログラムした番号を表示します。

**❑ 予約を1つずつ取り消すとき：**
ビデオCD、音楽CD、スーパーオーディオCD：
停止中に［CLEAR］を押す。
- 押すたびに、最後に予約したものから順に取り消します。

DVDオーディオ：
プログラム画面で［▷］を押して、［△ ▽］で予約したトラックを選択し、［CLEAR］を押す。

**❑ 予約をすべて取り消すとき：**
［PROGRAM/DIRECT］を押す。

## ランダム再生をする

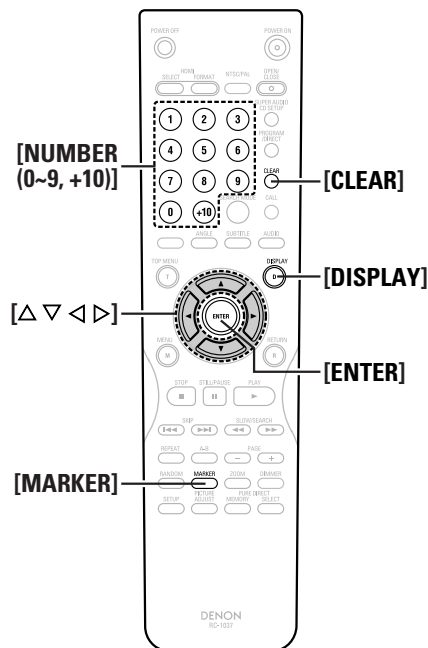
DVDオーディオ、ビデオCD、音楽CDおよびスーパーオーディオCDは、トラック単位でランダム（順不同）に再生できます。**DVDビデオはランダム再生できません。**

**1 停止中に［RANDOM］を押す。**
- 本機ディスプレイに“ RAND ”表示を点灯します。

**2 ▶ を押す。**
- ランダム再生を始めます。

※ DVDオーディオの場合は、グループ選択画面が表示され、［△ ▽］で“ オール ”または“ グループ番号 ”を選び、［ENTER］を押します。（“ グループ番号 ”の左側に“ ＊ ”が表示されます）
“ オール ”を選択したときはすべてのグループで、“ グループ番号 ”を選択したときはそのグループ内でランダム再生をします。

**❑ 通常の再生に戻すとき：**
停止中に［RANDOM］を押す。

- ディスクによっては、ランダム再生ができないことがあります。

**【操作説明のボタン名について】**

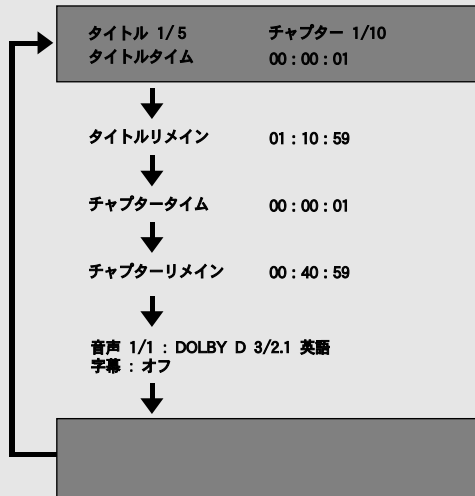
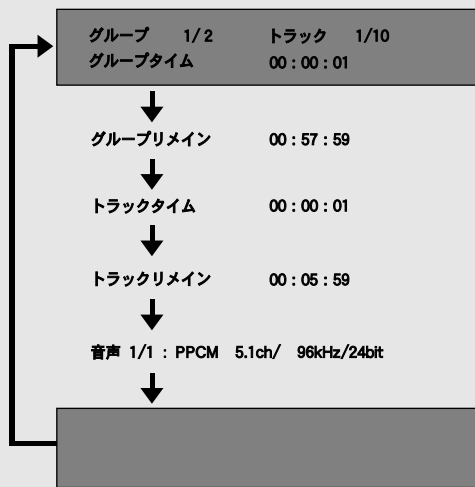
< >： 本体のボタン
[ ]： リモコンのボタン
**ボタン名のみ**：本体とリモコンのボタン

## ON-SCREEN画面を使って操作する

ディスクに関する情報（タイトル/チャプター/時間）を表示させて、再生箇所を指定できます。

### 1 再生中に［DISPLAY］を押す。

● 押すたびにテレビ画面の表示が切り替わります。
● 表示される項目はディスクによって変わります。

**DVDビデオの場合：**

**DVDオーディオの場合：**

**ビデオCD/音楽CD/スーパーオーディオの場合：**

※ ビデオCD/音楽CDの場合、経過時間のみが切り替わります。
※ スーパーオーディオCDの場合、ディスクによってはText情報が入っています。この場合、停止中はアルバムタイトルとアルバムアーティストも表示し、再生中は再生している曲のトラックタイトルも表示します。
※ Text情報が入ったスーパーオーディオCDは、トータルリメインを2回表示します。
2回目の表示の際に、本機のディスプレイにText情報を表示します。

※ 再生中に本機のディスプレイに再生経過時間が表示されないディスクは、ディスク情報も表示できない場合があります。

### 2 [△▽◁▷］で変更したい項目を選ぶ。

● 選択した項目を黄色の枠で表示します。

### ❑ 経過時間を指定する

**［NUMBER (0 ~ 9)］で時間を入力し、［ENTER］を押す。**

● 指定したところから再生を始めます。

※ ディスクによっては指定できない場合があります。

**DVDビデオの場合：**
**【例】**1時間32分47秒の場合
［0］→［1］→［3］→［2］→［4］→［7］→［ENTER］と押す。

**ビデオCD/音楽CDの場合：**
**【例】**1分26秒の場合
［0］→［1］→［2］→［6］→［ENTER］と押す。

**スーパーオーディオの場合：**
**【例】**1時間32分47秒（92分47秒）の場合
［0］→［9］→［2］→［4］→［7］→［ENTER］と押す。

### ❑ グループ/タイトル/トラック/チャプターを指定する

**［NUMBER (0 ~ 9, +10)］で番号を入力し、［ENTER］を押す。**

● 指定したところから再生を始めます。

※ ディスクによっては指定できない場合があります。

## 再び見たい場面を記憶する

再び見たい場面にマークを付けておくと、いつでもそこから再生を始めます。

## マークを付ける

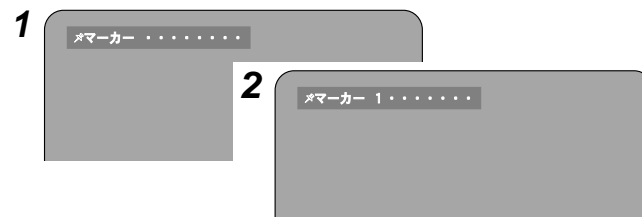
**1 再生中に［MARKER］を押す。**

● マークされていないときは、“  ”を表示します。

**2 ［◁ ▷］でマーカーを選び、記憶したい場面で［ENTER］を押す。**

● 数字を表示します。
● 最大8ヵ所までマークできます。

1
マーカー ・・・・・・・・

2
マーカー 1・・・・・・・

## マークを付けた場面を呼び出す

**［◁ ▷］でマーク番号を選び、［ENTER］を押す。**

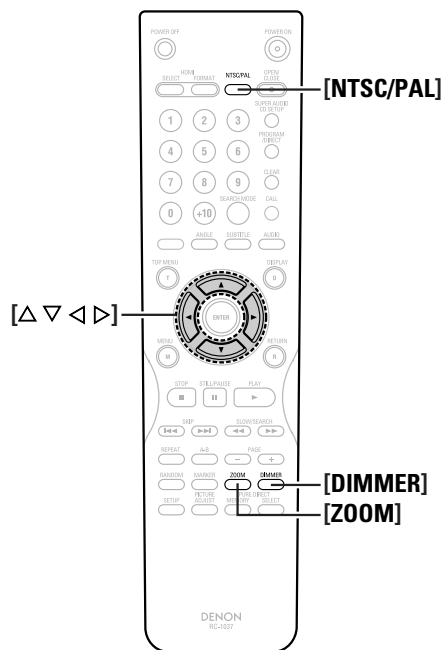
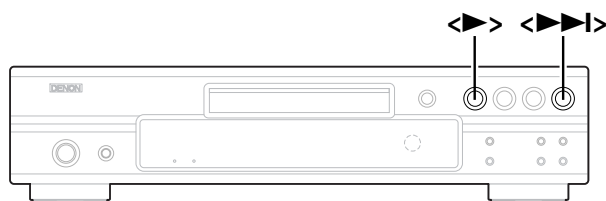
● マークを付けた場面から再生します。

### ❑ マーカー画面を消すとき：

［MARKER］を押す。

### ❑ 選んだマーク番号を取り消すとき：

［◁ ▷］でマーク番号を選び、［CLEAR］を押す。
●“  ”を表示します。

● マーカーを付けた場所によっては、字幕を表示しないことがあります。
● マーク番号は電源を切るか、本機からディスクを取り出すまで保持されます。

**【操作説明のボタン名について】**

< >： 本体のボタン
[ ]： リモコンのボタン
**ボタン名のみ**：本体とリモコンのボタン



## ズーム再生する

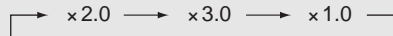
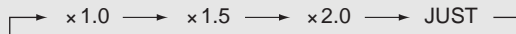
**1 再生中または一時停止中に［ZOOM］を押す。**

● 押すたびに倍率が変わります。

**DVDビデオ/ビデオCDの場合：**

→ ×2.0 → ×3.0 → ×1.0 ─

**DivX®の場合：**

→ ×1.0 → ×1.5 → ×2.0 → JUST ─

**2 ［△ ▽ ◁ ▷］を押す。**

● ズーム画面を移動します。

● 場面によっては、ズームが正しくできないことがあります。
● 拡大すると画質が悪化したり、画像がぶれることがあります。
● ディスクによってはズーム再生できないものがあります。
● トップメニューおよびメニュー画面ではズーム再生できません。

## 映像方式を設定する

接続したテレビの映像方式に応じて設定します。
**日本国内の映像方式は“NTSC”です。**

**［NTSC/PAL］を押す。**

→ PAL → マルチ → NTSC ─

● 接続したテレビの映像方式と違う方式を設定した場合、映像は正しく映りません。

## ディスプレイの明るさを調整する

本機のディスプレイの表示の明るさを調整します。
3段階の明るさの切り替えと、消灯の設定をすることができます。

**［DIMMER］を押す。**

● 押すたびに、ディスプレイの明るさが変わります。

# その他について

## DENON LINKについて

DENON LINKは、高速伝送素子を用いたバランス伝送タイプのデジタルリンクであり、専用端子を持ったDENONのAVアンプと１本の専用ケーブルで接続することで、信号劣化の少ない高速・高品位なデジタルオーディオ伝送を可能にし、高音質再生を実現するDENON独自のデジタルインターフェースです。DVD-Audioの192kHz/24bitの2chデジタル信号やPCMによるマルチチャンネル信号などのデジタル伝送を実現します。また、DENON LINK 3rd Editionは、スーパーオーディオCDのオーディオコンテンツをフルスペックでデジタル伝送することが可能です。
DENON LINK の処理中は、ディスプレイの“DENON LINK”の表示が点灯します。

## AL24 Processing Plusについて

AL24 Processing Plusは、量子化歪みを低減し、次世代メディアのハイビット化にもハイサンプリング化にも対応したアナログ波形再現技術です。
AL24 Processing Plusは入力されたデジタルデータを手がかりに、その音が自然界に存在したはずのアナログ波形に近づくようにデジタルデータの補間を行い、24bitクオリティーで再現することにより、ホールに吸い込まれるような残響音などの小音量時の音楽再生能力を高めています。フロントL,RのみならずサラウンドL,R、センター、SWの全チャンネルに搭載しています。
AL24 Processing Plusの処理中は、ディスプレイの“AL24 PLUS”の表示が点灯します。

## 著作権保護技術について

本製品は、著作権保護技術を採用しており、マクロビジョン社およびその他の著作権利者が保有する米国特許およびその他の知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用は、マクロビジョン社の許可が必要で、また、マクロビジョン社の特別な許可がない限り家庭用およびその他の一部の鑑賞用の使用に制限されています。分解したり、改造することも禁じられています。

## 初期化について

ディスプレイ表示が正常でない場合や、本体またはリモコンの操作ができない場合は、下記の操作で本機を初期化してください。

**1** **停止中に <▶>と <▶▶I> を同時に押す。**

**2** **テレビ画面の“初期化しました”が消えたことを確認したらボタンから指を離す。**
- 初期化が完了です。

- 初期化が完了しない場合は、もう一度操作 ***1*** からやり直してください。

## 登録商標について

本製品は、以下の技術を採用して生産されています。
（順不同）

- “NSV”はアナログデバイセズ社の登録商標です。
- “HDMI”、“HDMI”および“High-Definition Multimedia Interface”はHDMI Licensing LLCの登録商標または商標です。
- “HDCD®”、“HDCD®”、“High Definition Compatible Digital®”および“Microsoft®”は、米国 内や他の国におけるマイクロソフト社の登録商標または商標です。HDCDシステムはマイクロソフト社からのライセンスに基づき製造されています。この製品は下記の1つ以上の特許によって保護されています。米国内：5,479,168、5,638,074、5,640,161、5,808,574、5,838,274、5,854,600、5,864,311、5,872,531。オーストラリア国内：669114。その他の特許は出願中。
- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
  “Dolby”およびダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- “DTS”および“DTS Digital Surround”はデジタル・シアター・システムズ社の登録商標です。
- “KODAK”はイーストマン・コダック社の登録商標です。
- “FUJICOLOR CD”は富士写真フィルム（株）の商標です。
- “Windows Media™”および“Windows®”はマイクロソフト社の登録商標です。
- DivX、DivX Certifiedおよび関連するロゴは、DivX Inc.の商標です。これらの商標は、DivX Inc.の使用許諾を得て使用しています。

## 故障かな？と思ったら

### ❏ 各接続は正しいですか
### ❏ 取扱説明書に従って正しく操作していますか

本機が正常に動作しないときは、次の表に従ってチェックしてみてください。
なお、この表の各項にも該当しない場合は本機の故障とも考えられますので、お買い上げの販売店にご相談ください。
もしお買い上げの販売店でお分かりにならない場合は、当社のお客様相談窓口またはお近くの修理相談窓口にご連絡ください。

| 現　象 | チェック項目 | 関連ページ |
|---|---|---|
| 電源が入らない。 | ● 電源プラグを電源コンセントへしっかりと差し込んでください。 | 15 |
| ▶ボタンを押しても、再生がはじまらない。または、すぐに停止する。 | ● 結露していませんか。（1、2時間放置してください。）<br>● 7ページにあるマークがついたディスク以外は再生できません。<br>● ディスクが汚れているのできれいに拭いてください。 | 8<br>7<br>8 |
| 映像が映らない。 | ● 接続を確認してください。<br>● ピュアダイレクトの設定で“ビデオ出力”を“しない”、または“ALL OFF”に設定していないか確認してください。<br>● テレビの入力を“ビデオ”にしてください。 | 12～15<br>31<br>ー |
| 音が聞こえない。または、聞きづらい。 | ● 接続を確認してください。<br>● テレビ、ステレオなどの入力を正しく設定してください。<br>●“デジタル出力”または“ダイナミックレンジ圧縮”の設定を確認してください。<br>● スーパーオーディオCDはデジタル出力されません。アナログ接続またはDENON LINK 3rd接続をおこなってください。<br>● HDMI端子からの音声はピュアダイレクトの設定で“デジタル出力”、“ビデオ出力”を“しない”または“ALL OFF”に設定していると出力されません。<br>● HDMI規格Ver1.1に対応していない機器とHDMI接続した場合、CPPMで著作権保護されたDVDオーディオの音声信号は出力しません。 | 12～15<br>ー<br>26<br>13、14<br>31<br>15 |
| ビデオCDのメニュー再生ができない。 | ● プレイバックコントロール付きビデオCD以外は、メニュー再生できません。 | 39 |
| 早送り/早戻しをしたら画像が乱れる。 | ● 多少乱れが生じることがありますが、故障ではありません。 | ー |
| 各ボタン操作ができない。 | ● ディスクによってはその操作を禁止している場合があります。 | 35 |
| 字幕が出ない。 | ● 字幕の入っていないDVDは字幕が表示されません。<br>● 字幕が“切”になっていますので、字幕を設定してください。 | ー<br>19 |

《その他について》

| 現　象 | チェック項目 | 関連ページ |
|---|---|---|
| 音声（または字幕）言語が切り替えられない。 | ● 複数の言語が入っていないディスクは切り替えられません。<br>● 音声（または字幕）切り替え操作では切り替えられず、DVDメニュー画面などで切り替えられるディスクもあります。 | ー<br>37 |
| アングルを変えて見ることができない。 | ● 複数のアングルが記録されていないDVDは、アングルを切り替えられません。また、複数のアングルは特定の場面のみ記録されているものがあります。 | 37 |
| タイトルを選択しても再生がはじまらない。 | ●“視聴制限レベル”の設定を確認してください。 | 28 |
| 視聴制限で設定したパスワードを忘れた。初期設定のすべての項目をお買い上げ時設定に戻す。 | ● 以下の操作で初期設定の内容をお買い上げ時に戻してください。停止状態で、本体の ▶ ボタンと ▶▶I ボタンを押します。（テレビ画面の“初期化しました”が消えたことを確認してください。） | 49 |
| 初期設定で選択した音声言語、字幕言語にならない。 | ● DVDにその言語の音声や字幕が入っていないときは選択している言語になりません。 | 19 |
| 4：3（16：9）の画像で映らない。 | ● お手持ちのテレビに合わせて“TV　アスペクト”“スクイーズモード”の項目を正しく設定してください。 | 23、24 |
| 希望の言語でメニュー画面のメッセージが出ない。 | ● 初期設定で“言語設定”の“メニュー言語”を確認してください。 | 19 |
| HDMI接続で映像が映らない。 | ● HDMIの接続を確認してください。（HDMI関連表示の点灯状態を確認してください。）<br>● 接続されたモニター機器の対応入力フォーマットと本機の出力フォーマット（HDMI　FORMAT）が合っているか確認してください。<br>● ピュアダイレクトの設定で“ビデオ出力”を“しない”、または“ALL OFF”に設定していないか確認してください。 | 14、15<br>14、15<br>31 |
| リモコンで操作できない。 | ● 乾電池は、⊕ ⊖を確かめて正しく入れてください。<br>● 乾電池が消耗していますので、新しい乾電池に交換してください。<br>● リモコン受光部に向けて操作してください。<br>● リモコン受光部との距離が7m以内のところで操作してください。<br>● リモコン受光部との間にある障害物を取り除いてください。 | 8<br>8<br>8<br>8<br>ー |

## 保証とサービスについて

1 この商品には保証書を添付しております。
保証書は所定事項をお買い上げの販売店で記入してお渡し致しますので、記載内容をご確認のうえ大切に保存してください。

2 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
万一故障した場合には、保証書の記載内容により、お買い上げの販売店またはお近くの修理相談窓口が修理を申し受けます。
但し、保証期間内でも保証書を添付されない場合は、有料修理となりますので、ご注意ください。
詳しくは、保証書をご覧ください。

3 保証期間後の修理については、お買い上げの販売店またはお近くの修理相談窓口にご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理致します。

4 本機の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後8年です。

5 お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、あらかじめご了承ください。

6 この商品に添付されている保証書によって、保証書を発行している者（保証責任者）およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

7 保証および修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはお近くの修理相談窓口にご相談ください。
詳しくは、付属品『製品のご相談と修理・サービス窓口一覧表』をご参照ください。

※仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。

※本機を使用できるのは日本国内のみで、外国では使用できません。

※本機は国内仕様です。
必ずAC100Vのコンセントに電源プラグを差し込んでご使用ください。AC100V以外の電源には絶対に接続しないでください。

《その他について》

## 主な仕様

❏ **本体**

**信号形式：** NTSC/PAL
**対応ディスク：** （1）DVD-AUDIO / DVD-VIDEOディスク:
12cm片面1層 /12cm片面2層 /12cm両面2層（片面1層）/
8cm片面1層 / 8cm片面2層 / 8cm両面2層（片面1層）
（2）スーパーオーディオCDディスク：
12cm 1層 /12cm 2層 /12cmハイブリッド
（3）コンパクトディスク（CD-DA / VIDEO CD）：12cm / 8cmディスク
**S映像出力：** Y出力レベル：1Vp-p（75Ω）/ C出力レベル：0.286Vp-p
出力端子：S端子1系統
**映像出力：** 出力レベル：1Vp-p（75Ω）/ 出力端子：ピンジャック1系統
**色差映像出力：** Y出力レベル：1Vp-p（75Ω）
PB/CB出力レベル / PR/CR出力レベル：0.7Vp-p（75Ω）
出力端子：ピンジャック1系統 / D端子1系統
**HDMI出力：** 出力端子：19ピンHDMI端子1系統
**アナログ音声出力：** 出力レベル：2Vrms（10kΩ）
**アナログ音声出力：** 2チャンネル（L/R）出力端子：ピンジャック1系統
マルチチャンネル（FL/FR/C/SL/SR/SW）：ピンジャック1系統
**音声出力特性：** （1）周波数特性
① DVD（リニアPCM）　：2Hz～22kHz（48kHzサンプリング）
：2Hz～44kHz（96kHzサンプリング）
：2Hz～88kHz（192kHzサンプリング）
② スーパーオーディオCD：2Hz～100kHz
③ CD　：2Hz～20kHz（JEITA）
（2）S/N比　：118dB
（3）全高調波歪率　：0.001%
（4）ダイナミックレンジ：106dB
**デジタル音声出力：** 出力端子：光出力端子1系統 / コアキシャル出力端子1系統 /
DENON LINK 出力端子1系統

**電源：** AC100V　50/60Hz
**消費電力：** 35W（スタンバイ時：約1W）（電気用品安全法による）
**外形寸法：** 434（幅）×102（高さ）×386（奥行き）mm（突起物を含む）
**質量：** 7.6kg

❏ **リモコン (RC-1037)**

**リモコン方式：** 赤外線パルス式
**電源：** R06（単3形）乾電池2本使用
**外形寸法：** 58（幅）×230（高さ）×35（奥行き）mm
**質量：** 190g（乾電池を含む）

※ JEITA：（社）電子情報技術産業協会が制定した規格です。

株式会社デノンコンシューマー マーケティング

本　　社　　〒104-0033 東京都中央区新川1-21-2
茅場町タワー 14F

お客様相談センター　TEL：**045-670-5555**

**【電話番号はお間違えのないようにおかけください。】**

受付時間　9：30〜12：00、12：45〜17：30
（弊社休日および祝日を除く、月〜金曜日）

故障・修理・サービス部品についてのお問い合わせ先（サービスセンター）については、次の URL でもご確認できます。

**http://denon.jp/info/info02.html**

| 後日のために記入しておいてください。 | |
|---|---|
| 購入店名： | 電話（　　-　　-　　） |
| ご購入年月日：　　年　　月　　日 | |

Printed in China　00D 511 4519 000